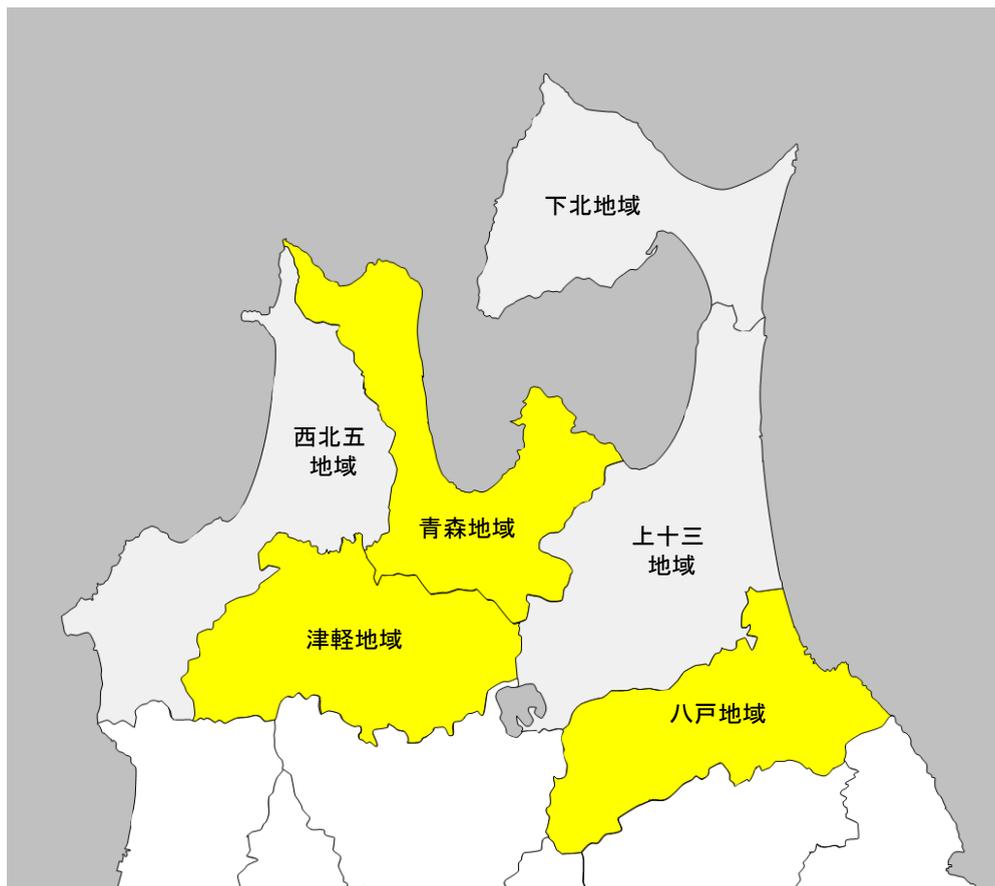


2. 青森県



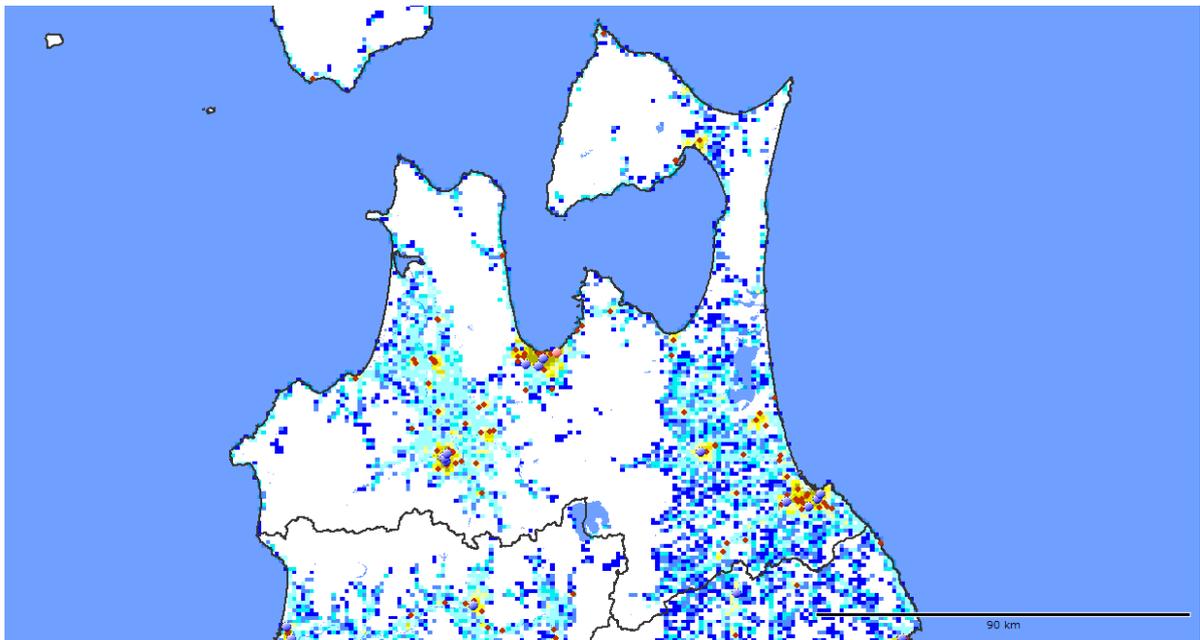
2. 青森県（2016年版）

目次

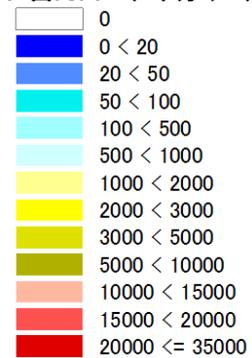
青森県	2 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	2 - 8
1. 津軽地域医療圏	2 - 20
2. 八戸地域医療圏	2 - 25
3. 青森地域医療圏	2 - 30
4. 西北五地域医療圏	2 - 35
5. 上十三地域医療圏	2 - 40
6. 下北地域医療圏	2 - 45

2. 青森県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（青森県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 青森県は、総人口約1306千人（2015年推計）、面積9645km²、人口密度は135人/km²である。

***人口の将来予測：** 青森県の総人口は2025年に1161千人へと減少し（2015年比-11%）、2040年に932千人へと減少する（2025年比-20%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の200千人が、2025年にかけて237千人へと増加し（2015年比+19%）、2040年には240千人へと増加する（2025年比+1%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 青森県の一人当たり医療費（国保）は302千円（偏差値46）、介護給付費は303千円（偏差値63）であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 青森県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.79で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が45（病院医師数46、診療所医師数43）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 青森県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、19798人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12122床（偏差値51）、高齢者住宅等が7676床（偏差値49）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、16316人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム37、軽費ホーム46、グループホーム74、サ高住49である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、4711人（75歳以上1000人当たりの偏差値68）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

青森県の総人口は、2005年1436657人が、2015年に1305510人と9%減少し、2025年の人口が1161431人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

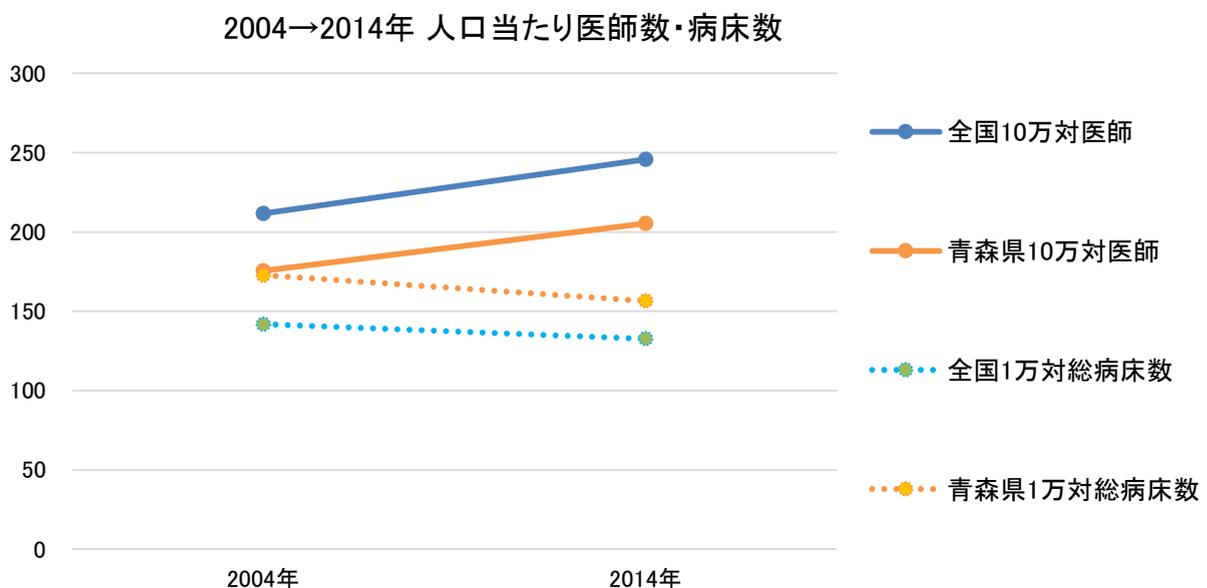
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が108(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に97(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で11病院が減少した。

2004年の診療所数が976(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に895(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値44)と、81診療所が減少した。

2004年の総病床数が24822床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に20430床(人口1万人当たり156(全国平均133)偏差値54)と、4392床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

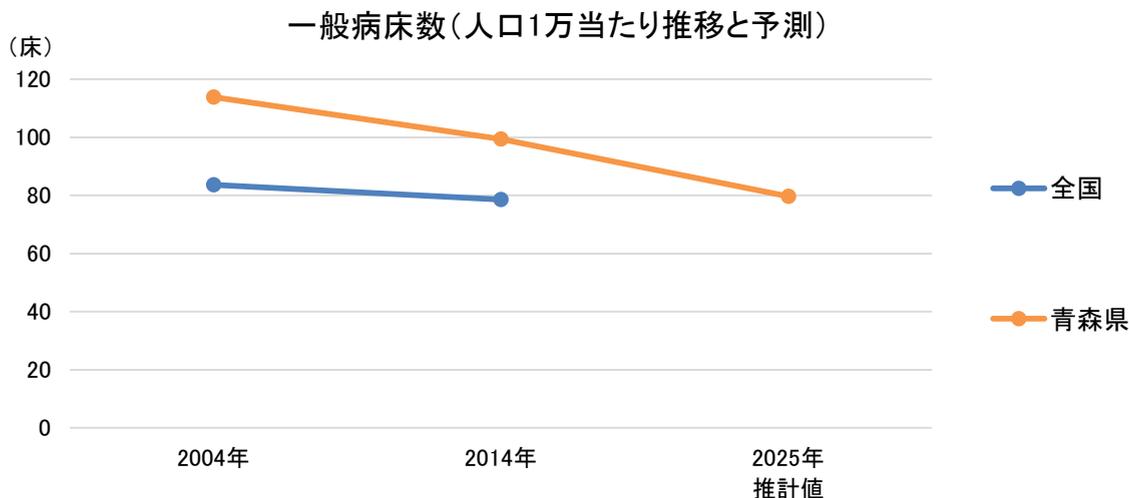
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2522人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に2681人(人口10万人当たり205人(全国平均246人)偏差値46)と、159人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



2. 青森県（2016年版）

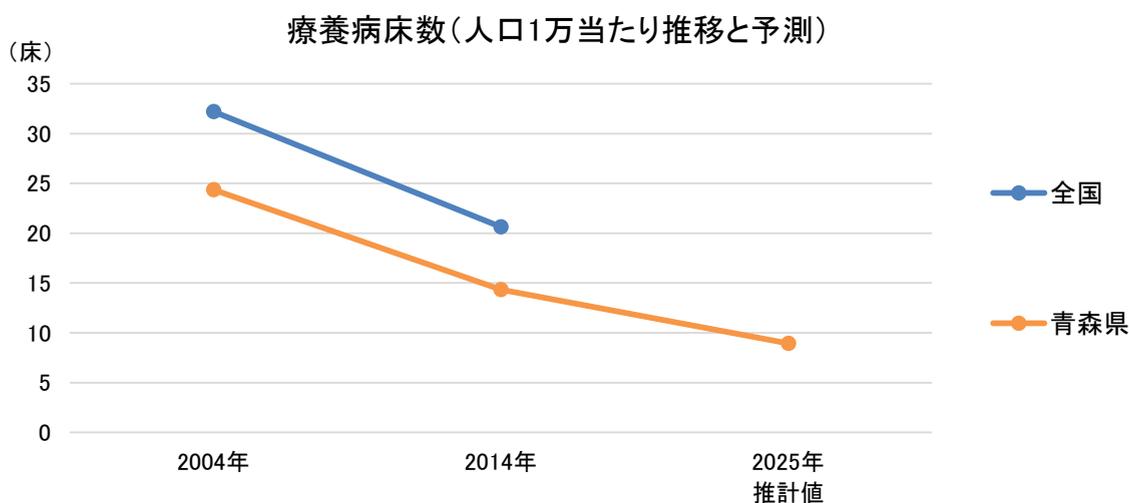
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16357床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に12973床(人口1万人当たり99(全国平均79)偏差値58)と、3384床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9251床(2025年の推計人口1万人当たり80)になることが予想される。



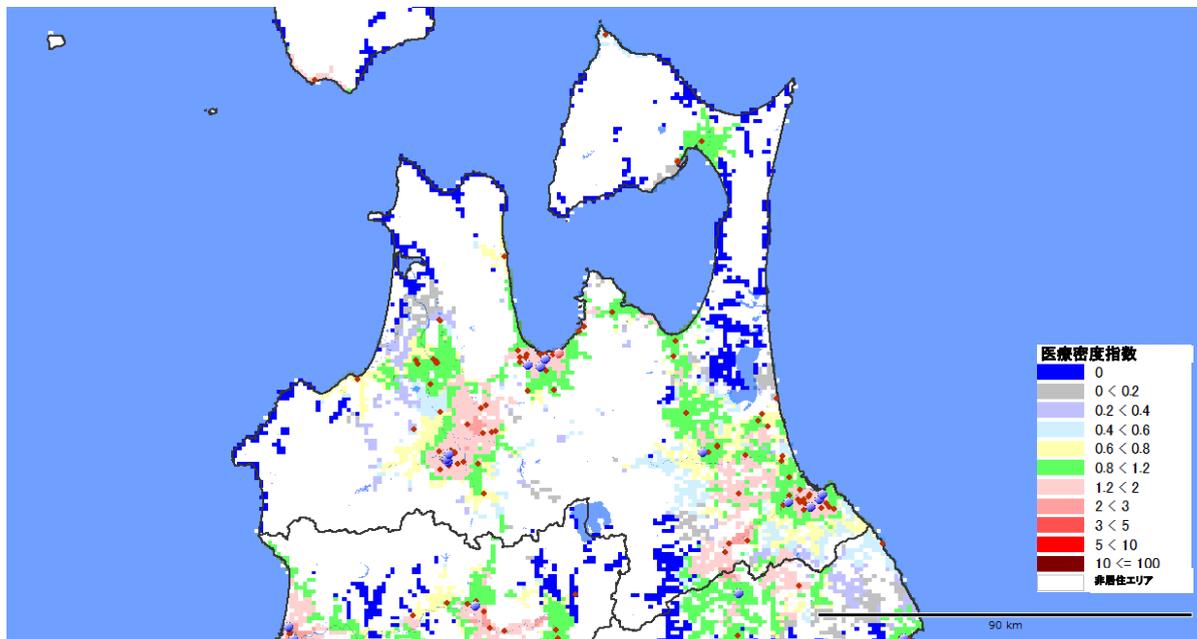
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3553床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に2872床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値45)と、681床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2122床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。

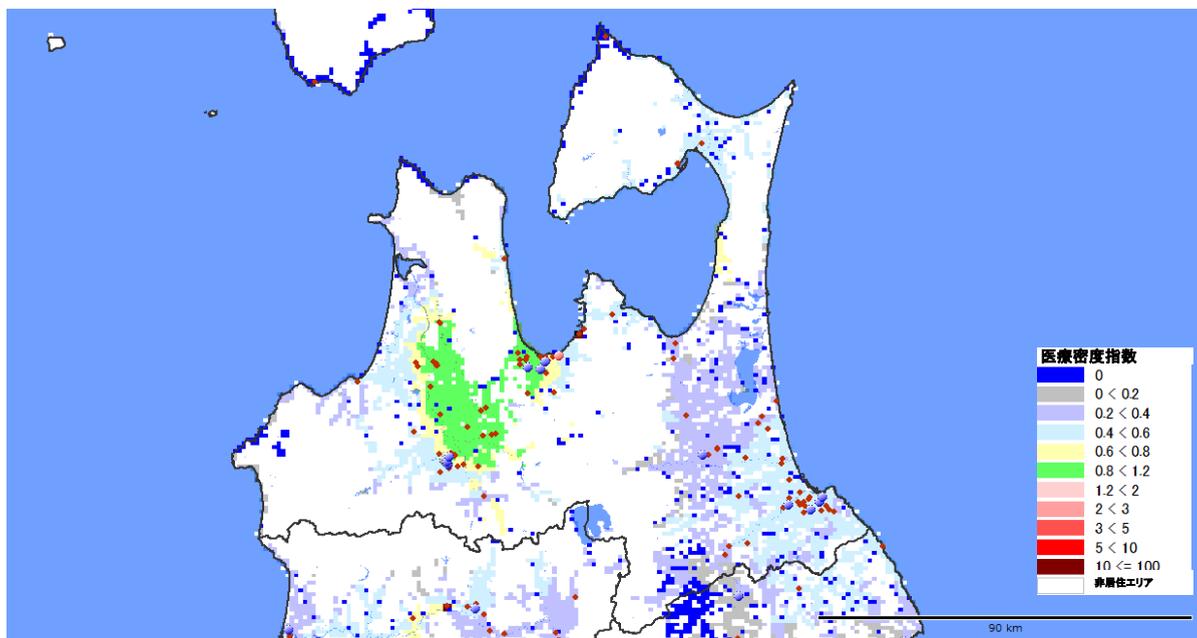


3. 医療密度⁵

図表2-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-2 慢性期医療密度指数マップ



2. 青森県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 2-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
青森県	1,306	31位	9,645	8位	135.4		30%	1,161	932	200	237	240	-11%	-20%	19%	1%
津軽地域	290	22%	1,598	17%	181.8	地方都市型	30%	258	209	46	52	51	-11%	-19%	13%	-2%
八戸地域	322	25%	1,347	14%	238.9	地方都市型	29%	291	238	47	59	61	-10%	-18%	26%	3%
青森地域	309	24%	1,477	15%	209.4	地方都市型	29%	275	218	44	54	55	-11%	-21%	23%	2%
西北五地域	133	10%	1,753	18%	75.9	過疎地域型	34%	113	84	25	26	25	-15%	-26%	4%	-4%
上十三地域	176	13%	2,055	21%	85.5	過疎地域型	30%	158	130	27	33	34	-10%	-18%	22%	3%
下北地域	75	6%	1,415	15%	53.2	過疎地域型	30%	67	53	12	14	14	-11%	-21%	17%	0%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 2-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
青森県	1.06	0.79	-11.0%	-12.3%
津軽地域	1.32	0.66	-1.3%	-0.3%
八戸地域	1.16	0.55	-30.5%	-36.8%
青森地域	1.22	1.04	-24.9%	-25.9%
西北五地域	0.62	1.48	22.3%	26.4%
上十三地域	0.74	0.42	-11.8%	-16.3%
下北地域	0.56	0.91	-16.4%	-18.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 2-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
青森県	302	46	0.916	303	63
津軽地域	304	46	0.966	310	65
八戸地域	312	48	0.965	292	60
青森地域	318	50	0.977	291	60
西北五地域	268	38	0.880	310	65
上十三地域	291	43	0.922	326	70
下北地域	297	45	0.936	298	62
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 2-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
青森県	97	1.1%	7.4	52	895	0.9%	69	44
津軽地域	22	23%	7.6	52	236	26%	81	51
八戸地域	27	28%	8.4	54	196	22%	61	41
青森地域	23	24%	7.4	52	245	27%	79	50
西北五地域	8	8%	6.0	48	85	9%	64	42
上十三地域	13	13%	7.4	52	93	10%	53	36
下北地域	4	4%	5.3	47	40	4%	53	37
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
青森県	895	0.9%	69	44	710	0.8%	54	40	185	2.2%	14.2	61
津軽地域	236	26%	81	51	171	24%	59	43	65	35%	22.4	74
八戸地域	196	22%	61	41	166	23%	52	39	30	16%	9.3	54
青森地域	245	27%	79	50	193	27%	62	45	52	28%	16.8	65
西北五地域	85	9%	64	42	77	11%	58	42	8	4%	6.0	49
上十三地域	93	10%	53	36	72	10%	41	33	21	11%	11.9	58
下北地域	40	4%	53	37	31	4%	41	33	9	5%	12.0	58
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

2. 青森県（2016年版）

資_図表 2-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
青森県	17,664	1.1%	1,353	52	2,766	2.5%	212	62	20,430	1.2%	1,565	54
津軽地域	4,371	25%	1,505	55	966	35%	333	73	5,337	26%	1,838	59
八戸地域	4,592	26%	1,428	54	425	15%	132	54	5,017	25%	1,560	54
青森地域	4,787	27%	1,548	56	821	30%	265	67	5,608	27%	1,813	59
西北五地域	1,369	8%	1,029	46	124	4%	93	50	1,493	7%	1,122	46
上十三地域	1,913	11%	1,088	47	317	11%	180	59	2,230	11%	1,269	49
下北地域	632	4%	840	42	113	4%	150	56	745	4%	990	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 2-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
青森県	10,380	1.2%	795	54	2,699	0.8%	207	48	4,495	1.3%	344	54
津軽地域	2,923	28%	1,006	63	544	20%	187	47	898	20%	309	52
八戸地域	2,670	26%	830	55	507	19%	158	45	1,409	31%	438	58
青森地域	2,667	26%	862	57	783	29%	253	50	1,271	28%	411	57
西北五地域	610	6%	458	39	591	22%	444	59	164	4%	123	43
上十三地域	1,056	10%	601	45	154	6%	88	42	699	16%	398	56
下北地域	454	4%	604	46	120	4%	160	45	54	1%	72	41
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
青森県	773	1.1%	59	51	445	1.2%	34	50
津軽地域	275	36%	95	58	152	34%	52	54
八戸地域	164	21%	51	49	145	33%	45	52
青森地域	334	43%	108	61	32	7%	10	45
西北五地域	0	0%	0	38	29	7%	22	47
上十三地域	0	0%	0	38	87	20%	49	53
下北地域	0	0%	0	38	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 2-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
青森県	8,663	7,489	464	8,734	2,696	2,253	73.5%	59	17.1%	53
津軽地域	1,673	1,594	32	2,695	1,295	543	55.2%	51	5.6%	48
八戸地域	2,388	2,189	89	2,129	417	467	84.0%	63	16.0%	53
青森地域	2,382	1,833	152	2,236	733	569	71.4%	58	21.1%	55
西北五地域	638	554	40	731	60	551	90.2%	66	6.8%	49
上十三地域	950	865	31	943	191	123	81.9%	62	20.1%	55
下北地域	632	454	120	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 2-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
青森県	25,668	0.9%	1,966	48	10,656	1.0%	816	50
津軽地域	7,872	31%	2,710	55	2,544	24%	876	52
八戸地域	6,276	24%	1,951	47	3,180	30%	989	56
青森地域	7,056	27%	2,281	51	2,784	26%	900	53
西北五地域	2,064	8%	1,551	44	696	7%	523	40
上十三地域	1,692	7%	963	38	864	8%	492	39
下北地域	708	3%	941	38	588	6%	782	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
青森県	2,870	0.8%	220	45	1,809	0.9%	139	46	1,062	0.8%	81	43
津軽地域	912	32%	314	55	609	34%	210	57	303	29%	104	50
八戸地域	693	24%	215	44	448	25%	139	46	244	23%	76	42
青森地域	717	25%	232	46	420	23%	136	45	297	28%	96	48
西北五地域	193	7%	145	37	112	6%	84	38	81	8%	61	37
上十三地域	251	9%	143	36	152	8%	87	38	99	9%	56	36
下北地域	106	4%	140	36	68	4%	90	39	38	4%	50	34
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

2. 青森県 (2016年版)

資_図表 2-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
青森県	90	0.6%	6.9	42	98	0.8%	7.5	45	96	0.9%	7.4	48
津軽地域	31	34%	10.7	47	41	42%	14.1	59	35	36%	12.1	60
八戸地域	13	14%	4.0	38	19	19%	5.9	41	19	20%	5.9	44
青森地域	30	33%	9.7	46	24	24%	7.8	45	19	20%	6.1	45
西北五地域	7	8%	5.3	39	3	3%	2.3	33	7	7%	5.3	42
上十三地域	7	8%	4.0	38	7	7%	4.0	37	8	8%	4.6	40
下北地域	2	2%	2.7	36	4	4%	5.3	40	8	8%	10.6	56
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
青森県	60	1.1%	4.6	52	58	0.6%	4.4	41	60	0.8%	4.6	45
津軽地域	23	38%	7.9	68	20	34%	6.9	48	18	30%	6.2	51
八戸地域	13	22%	4.0	49	13	22%	4.0	39	13	22%	4.0	43
青森地域	15	25%	4.8	53	17	29%	5.5	44	18	30%	5.8	50
西北五地域	2	3%	1.5	38	5	9%	3.8	39	4	7%	3.0	39
上十三地域	5	8%	2.8	44	1	2%	0.6	29	5	8%	2.8	38
下北地域	2	3%	2.7	43	2	3%	2.7	35	2	3%	2.7	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
青森県	71	0.9%	5.4	47	193	0.9%	14.8	48	152	1.0%	11.6	49
津軽地域	20	28%	6.9	51	69	36%	23.8	61	49	32%	16.9	61
八戸地域	16	23%	5.0	46	38	20%	11.8	44	36	24%	11.2	48
青森地域	20	28%	6.5	50	44	23%	14.2	47	41	27%	13.3	52
西北五地域	3	4%	2.3	38	16	8%	12.0	44	9	6%	6.8	38
上十三地域	11	15%	6.3	49	18	9%	10.2	42	13	9%	7.4	39
下北地域	1	1%	1.3	35	8	4%	10.6	42	4	3%	5.3	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
青森県	62	1.1%	4.7	51	50	0.8%	3.8	45	30	0.6%	2.3	44
津軽地域	17	27%	5.9	57	12	24%	4.1	46	15	50%	5.2	53
八戸地域	17	27%	5.3	54	14	28%	4.4	47	5	17%	1.6	41
青森地域	15	24%	4.8	52	15	30%	4.8	49	7	23%	2.3	44
西北五地域	2	3%	1.5	35	3	6%	2.3	38	0	0%	0	36
上十三地域	6	10%	3.4	45	4	8%	2.3	38	2	7%	1.1	40
下北地域	5	8%	6.6	60	2	4%	2.7	40	1	3%	1.3	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
青森県	48	0.7%	3.7	45	14	0.9%	1.1	48	26	0.8%	2.0	46
津軽地域	23	48%	7.9	59	7	50%	2.4	63	7	27%	2.4	49
八戸地域	6	13%	1.9	39	3	21%	0.9	47	12	46%	3.7	57
青森地域	13	27%	4.2	47	3	21%	1.0	47	4	15%	1.3	42
西北五地域	1	2%	0.8	36	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上十三地域	3	6%	1.7	39	0	0%	0	37	1	4%	0.6	38
下北地域	2	4%	2.7	42	1	7%	1.3	51	2	8%	2.7	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
青森県	8	0.4%	0.6	42	17	0.7%	1.3	46
津軽地域	5	63%	1.7	51	7	41%	2.4	54
八戸地域	0	0%	0	37	4	24%	1.2	45
青森地域	3	38%	1.0	45	2	12%	0.6	41
西北五地域	0	0%	0	37	2	12%	1.5	47
上十三地域	0	0%	0	37	2	12%	1.1	44
下北地域	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

2. 青森県（2016年版）

資_図表 2-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
青森県	12,899	1.2%	988	54	10,246	1.1%	785	53	2,653	1.3%	203	56
津軽地域	3,294	26%	1,134	59	2,643	26%	910	58	651	25%	224	59
八戸地域	3,195	25%	993	54	2,586	25%	804	54	609	23%	189	55
青森地域	3,480	27%	1,125	59	2,795	27%	904	58	685	26%	222	59
西北五地域	864	7%	650	42	689	7%	518	42	176	7%	132	47
上十三地域	1,492	12%	849	49	1,115	11%	634	47	377	14%	214	58
下北地域	573	4%	762	46	418	4%	555	43	155	6%	207	57
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
青森県	1,124	0.9%	86	48	2,111	0.7%	162	43
津軽地域	362	32%	125	56	521	25%	179	45
八戸地域	283	25%	88	49	469	22%	146	42
青森地域	324	29%	105	52	673	32%	218	49
西北五地域	49	4%	37	39	146	7%	110	38
上十三地域	63	6%	36	39	214	10%	122	39
下北地域	42	4%	56	43	88	4%	117	39
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 2-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
青森県	95	0.6%	0.5	41	9	0.8%	0.0	46	134	1.4%	0.7	55
津軽地域	36	38%	0.8	48	2	22%	0.0	46	37	28%	0.8	62
八戸地域	14	15%	0.3	37	1	11%	0.0	43	35	26%	0.8	59
青森地域	30	32%	0.7	45	5	56%	0.1	57	23	17%	0.5	47
西北五地域	5	5%	0.2	35	0	0%	0	39	13	10%	0.5	46
上十三地域	8	8%	0.3	37	0	0%	0	39	18	13%	0.7	54
下北地域	2	2%	0.2	34	1	11%	0.1	53	8	6%	0.7	56
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 2-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	19,798	1.2%	99	50	12,122	1.2%	60	51	7,676	1.2%	38	49
津軽地域	4,898	25%	107	55	2,812	23%	62	52	2,086	27%	46	54
八戸地域	4,233	21%	91	45	2,703	22%	58	49	1,530	20%	33	46
青森地域	3,857	19%	87	43	2,245	19%	51	43	1,612	21%	36	48
西北五地域	2,771	14%	109	56	1,730	14%	68	57	1,041	14%	41	51
上十三地域	3,006	15%	111	57	1,824	15%	67	56	1,182	15%	43	53
下北地域	1,033	5%	89	44	808	7%	69	58	225	3%	19	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 2-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	5,169	1.4%	26	57	6,115	1.1%	31	47	838	1.2%	4.2	50
津軽地域	1,467	28%	32	68	1,311	21%	29	45	34	4%	0.7	42
八戸地域	1,080	21%	23	52	1,357	22%	29	45	266	32%	5.7	54
青森地域	966	19%	22	50	1,142	19%	26	42	137	16%	3.1	48
西北五地域	580	11%	23	52	795	13%	31	48	355	42%	14.0	74
上十三地域	817	16%	30	64	1,001	16%	37	53	6	1%	0.2	41
下北地域	259	5%	22	50	509	8%	44	60	40	5%	3.4	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	135	0.1%	0.7	37	119	0.5%	0.6	46	4,980	2.6%	24.8	74
津軽地域	0	0%	0	37	30	25%	0.7	47	1,290	26%	28.3	80
八戸地域	81	60%	1.7	38	0	0%	0	43	878	18%	18.9	63
青森地域	0	0%	0	37	59	50%	1.3	50	1,141	23%	25.8	75
西北五地域	0	0%	0	37	30	25%	1.2	49	933	19%	36.9	95
上十三地域	54	40%	2.0	39	0	0%	0	43	576	12%	21.2	67
下北地域	0	0%	0	37	0	0%	0	43	162	3%	13.9	54
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

2. 青森県（2016年版）

資_図表 2-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
青森県	2,442	1.1%	12.2	49	32	0.2%	0.2	46	2,410	1.2%	12.0	50
津軽地域	766	31%	16.8	56	0	0%	0	45	766	32%	16.8	57
八戸地域	571	23%	12.3	49	32	100%	0.7	49	539	22%	11.6	49
青森地域	412	17%	9.3	45	0	0%	0	45	412	17%	9.3	46
西北五地域	78	3%	3.1	35	0	0%	0	45	78	3%	3.1	36
上十三地域	552	23%	20.3	61	0	0%	0	45	552	23%	20.3	63
下北地域	63	3%	5.4	39	0	0%	0	45	63	3%	5.4	39
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 2-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
青森県	2,146	1.3%	10.7	54	1,521	1.3%	7.6	52	626	1.5%	3.1	57
津軽地域	479	22%	10.5	53	328	22%	7.2	50	150	24%	3.3	59
八戸地域	564	26%	12.1	60	389	26%	8.4	55	175	28%	3.7	64
青森地域	416	19%	9.4	49	288	19%	6.5	47	128	21%	2.9	54
西北五地域	284	13%	11.2	56	240	16%	9.5	61	44	7%	1.7	40
上十三地域	297	14%	10.9	55	189	12%	7.0	49	107	17%	3.9	66
下北地域	107	5%	9.2	48	86	6%	7.4	51	22	3%	1.9	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
青森県	21,026	1.4%	105	62	16,316	1.3%	81	54	4,711	2.1%	23.5	68
津軽地域	5,170	25%	113	69	3,816	23%	84	56	1,354	29%	29.7	79
八戸地域	4,608	22%	99	57	3,688	23%	79	52	920	20%	19.8	61
青森地域	4,798	23%	108	65	3,473	21%	79	52	1,325	28%	30.0	80
西北五地域	2,628	12%	104	61	2,244	14%	89	61	384	8%	15.2	53
上十三地域	2,782	13%	102	60	2,225	14%	82	55	557	12%	20.5	63
下北地域	1,041	5%	89	50	871	5%	75	49	170	4%	14.6	52
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
青森県	9,020	0.8%	45	43	4,858	1.2%	24	49	23,584	1.6%	118	59
津軽地域	1,826	20%	40	42	1,025	21%	22	48	6,100	26%	134	64
八戸地域	2,289	25%	49	45	1,359	28%	29	54	4,402	19%	95	51
青森地域	3,154	35%	71	52	1,073	22%	24	49	6,584	28%	149	69
西北五地域	357	4%	14	33	204	4%	8	34	2,203	9%	87	49
上十三地域	1,111	12%	41	42	1,015	21%	37	61	2,703	11%	99	53
下北地域	283	3%	24	37	182	4%	16	41	1,592	7%	137	65

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 2-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
青森県		1,436,657	1,305,510	-9%	1,161,431	-19%	5%	-1%	4%
津軽地域	地方都市型	317,610	290,448	-9%	258,423	-19%	4%	-2%	1%
八戸地域	地方都市型	348,205	321,674	-8%	290,563	-17%	8%	2%	10%
青森地域	地方都市型	340,427	309,327	-9%	275,028	-19%	6%	0%	5%
西北五地域	過疎地域型	155,246	133,054	-14%	112,589	-27%	-2%	-7%	-8%
上十三地域	過疎地域型	191,417	175,786	-8%	158,286	-17%	6%	1%	7%
下北地域	過疎地域型	83,752	75,221	-10%	66,542	-21%	3%	0%	3%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資_図表 2-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
青森県	108	7.5	51	97	7.4	52	-11	-10%	86
津軽地域	27	8.5	54	22	7.6	52	-5	-19%	17
八戸地域	27	7.8	52	27	8.4	54	0	0%	27
青森地域	25	7.3	51	23	7.4	52	-2	-8%	21
西北五地域	10	6.4	48	8	6.0	48	-2	-20%	6
上十三地域	13	6.8	49	13	7.4	52	0	0%	13
下北地域	6	7.2	50	4	5.3	47	-2	-33%	2

出典 <病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月
<病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

2. 青森県（2016年版）

資_図表 2-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
青森県	976	68	46	895	69	44	-81	-8%	806
津軽地域	260	82	53	236	81	51	-24	-9%	210
八戸地域	211	61	42	196	61	41	-15	-7%	180
青森地域	275	81	52	245	79	50	-30	-11%	212
西北五地域	81	52	38	85	64	42	4	5%	89
上十三地域	103	54	39	93	53	36	-10	-10%	82
下北地域	46	55	40	40	53	37	-6	-13%	33
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 2-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
青森県	2,522	176	46	2,681	205	46	159	6%	2,856
津軽地域	869	274	57	907	312	57	38	4%	949
八戸地域	557	160	44	608	189	44	51	9%	664
青森地域	608	179	46	680	220	47	72	12%	759
西北五地域	160	103	37	165	124	38	5	3%	171
上十三地域	224	117	39	217	123	38	-7	-3%	209
下北地域	104	124	40	104	138	39	0	0%	104
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 2-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
青森県	24,822	173	56	20,430	156	54	-4,392	-18%	15,597
津軽地域	6,263	197	60	5,337	184	59	-926	-15%	4,318
八戸地域	5,483	157	53	5,017	156	54	-466	-8%	4,504
青森地域	6,884	202	61	5,608	181	59	-1,276	-19%	4,204
西北五地域	2,299	148	51	1,493	112	46	-806	-35%	606
上十三地域	2,911	152	52	2,230	127	49	-681	-23%	1,481
下北地域	982	117	46	745	99	44	-237	-24%	484
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 2-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
青森県	16,357	114	61	12,973	99	58	-3,384	-21%	9,251	80
津軽地域	4,425	139	70	3,800	131	69	-625	-14%	3,113	120
八戸地域	3,661	105	58	3,095	96	56	-566	-15%	2,472	85
青森地域	4,447	131	67	3,428	111	62	-1,019	-23%	2,307	84
西北五地域	1,315	85	50	734	55	41	-581	-44%	95	8
上十三地域	1,793	94	54	1,349	77	49	-444	-25%	861	54
下北地域	716	85	51	567	75	49	-149	-21%	403	61
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 2-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
青森県	3,553	24	46	2,872	14	45	-681	-19%	2,122	9
津軽地域	875	25	46	633	14	44	-242	-28%	367	7
八戸地域	618	19	43	507	11	42	-111	-18%	385	7
青森地域	1,000	32	50	843	19	49	-157	-16%	670	12
西北五地域	668	34	51	591	23	52	-77	-12%	506	19
上十三地域	236	12	39	178	7	38	-58	-25%	114	4
下北地域	156	17	42	120	10	41	-36	-23%	80	6
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

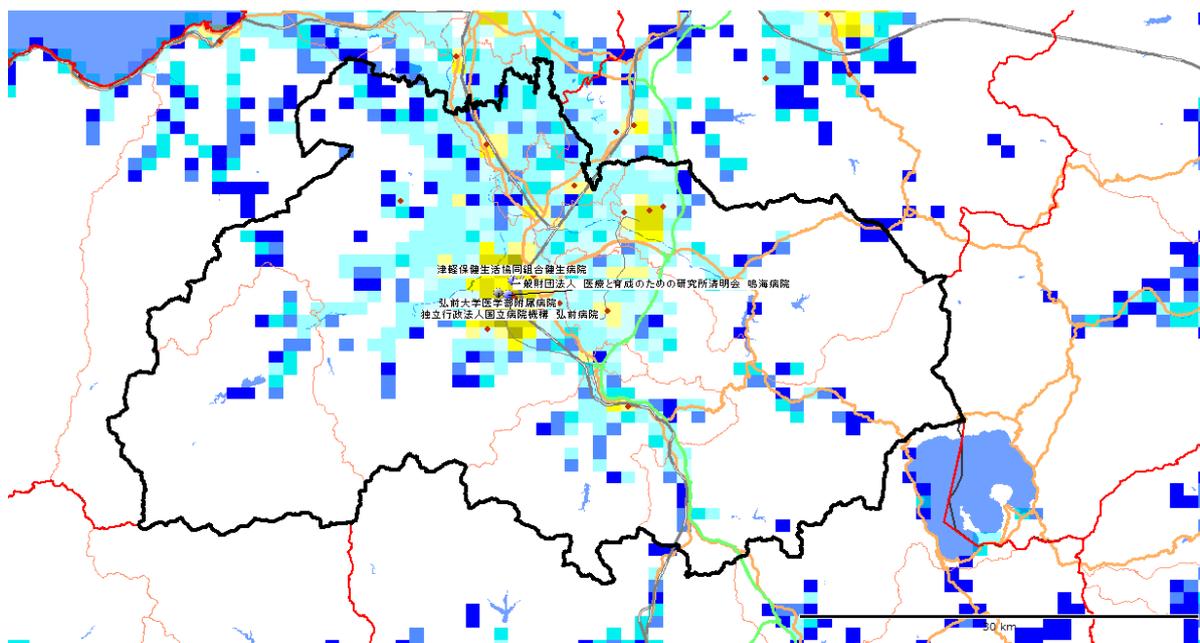
資_図表 2-35 【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
青森県	311	46	0.946	118	47	0.922	174	48	0.980
津軽地域	306	45	0.943	116	46	0.922	171	47	0.979
八戸地域	319	48	0.955	121	48	0.939	176	50	0.977
青森地域	335	52	0.999	127	50	0.981	187	56	1.034
西北五地域	280	39	0.887	103	42	0.843	158	39	0.933
上十三地域	303	44	0.929	114	46	0.901	170	46	0.964
下北地域	301	44	0.917	115	46	0.899	169	45	0.956
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

つがる 2-1. 津軽地域医療圏

構成市区町村¹⁰ [弘前市](#) [黒石市](#) [平川市](#) [西目屋村](#)
 [藤崎町](#) [大鰐町](#) [田舎館村](#) [板柳町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(津軽地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 津軽地域(弘前市)は、総人口約290千人(2015年推計)、面積1598km²、人口密度は182人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 津軽地域の総人口は2025年に258千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に209千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には51千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 津軽地域の一人当たり医療費(国保)は304千円(偏差値46)、介護給付費は310千円(偏差値65)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 津軽地域の一人当たり急性期医療密度指数²は1.32、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.66で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が55(病院医師数57、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。津軽地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の弘前大学医学部附属病院(I群・救命)、500例以上の国立病院機構弘前病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 津軽地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4898人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2812床(偏差値52)、高齢者住宅等が2086床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3816人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設42、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム47、グループホーム80、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1354人(75歳以上1000人当たりの偏差値79)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は±0%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

津軽地域医療圏の総人口は、2005年317610人が、2015年に290448人と9%減少し、2025年の人口が258423人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

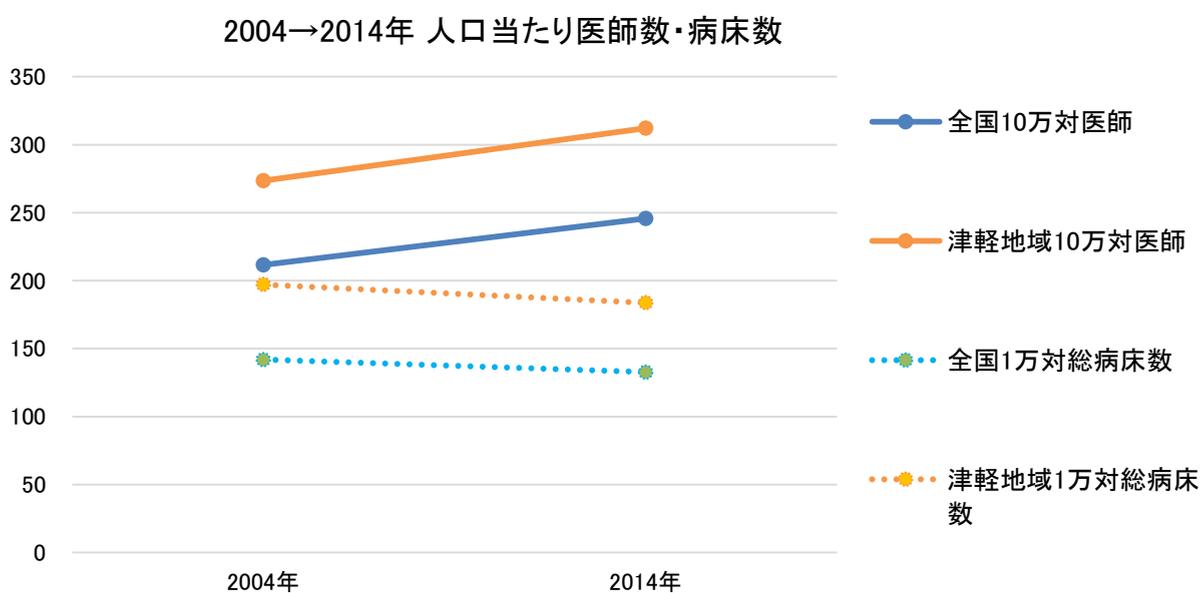
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に22(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が260(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に236(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、24診療所が減少した。

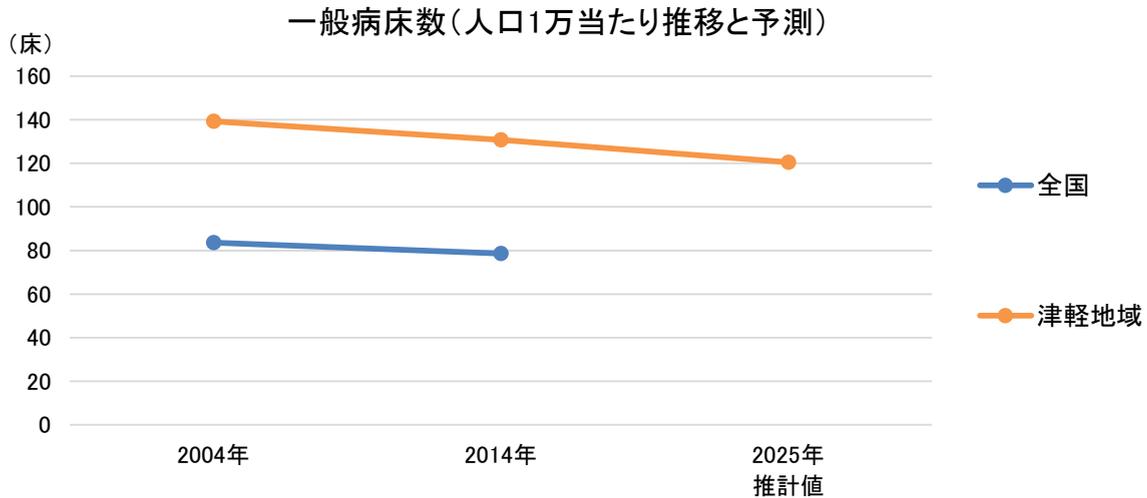
2004年の総病床数が6263床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に5337床(人口1万人当たり184(全国平均133)偏差値59)と、926床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が869人(人口10万人当たり274人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に907人(人口10万人当たり312人(全国平均246人)偏差値57)と、38人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



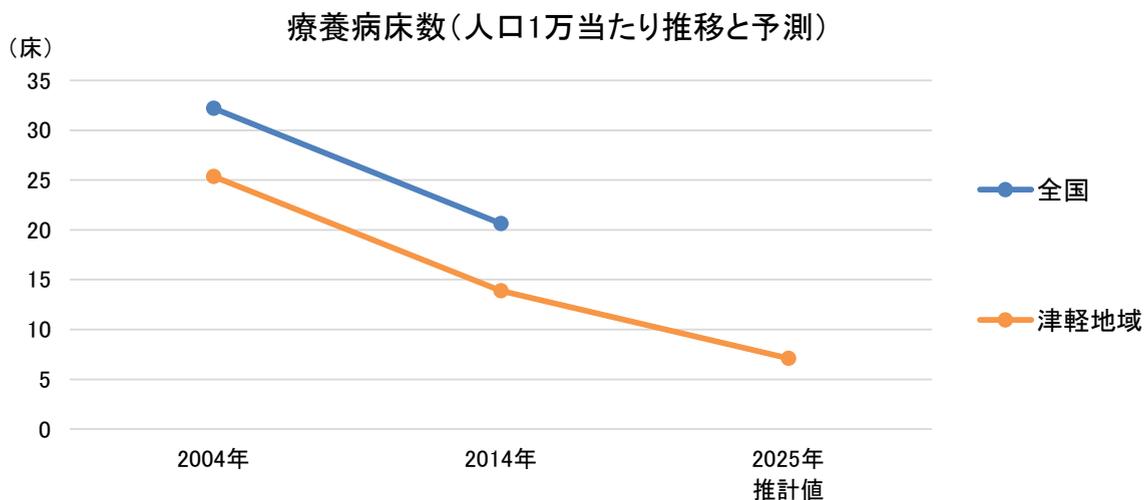
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4425床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に3800床(人口1万人当たり131(全国平均79)偏差値69)と、625床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3113床(2025年の推計人口1万人当たり120)になることが予想される。



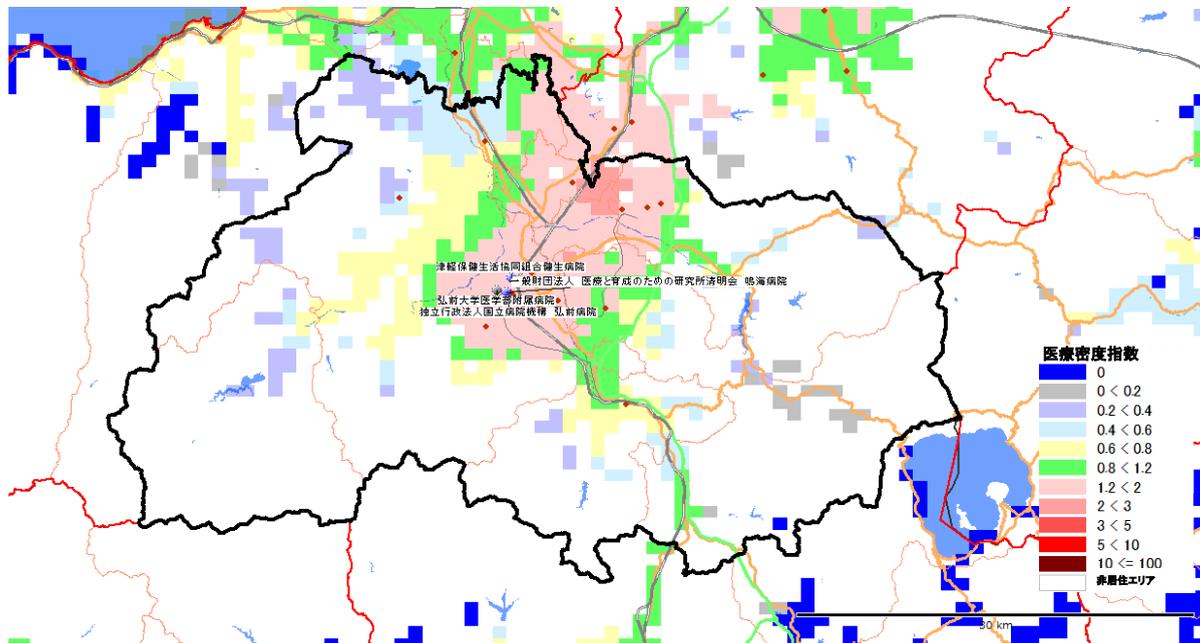
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が875床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に633床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、242床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には367床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。

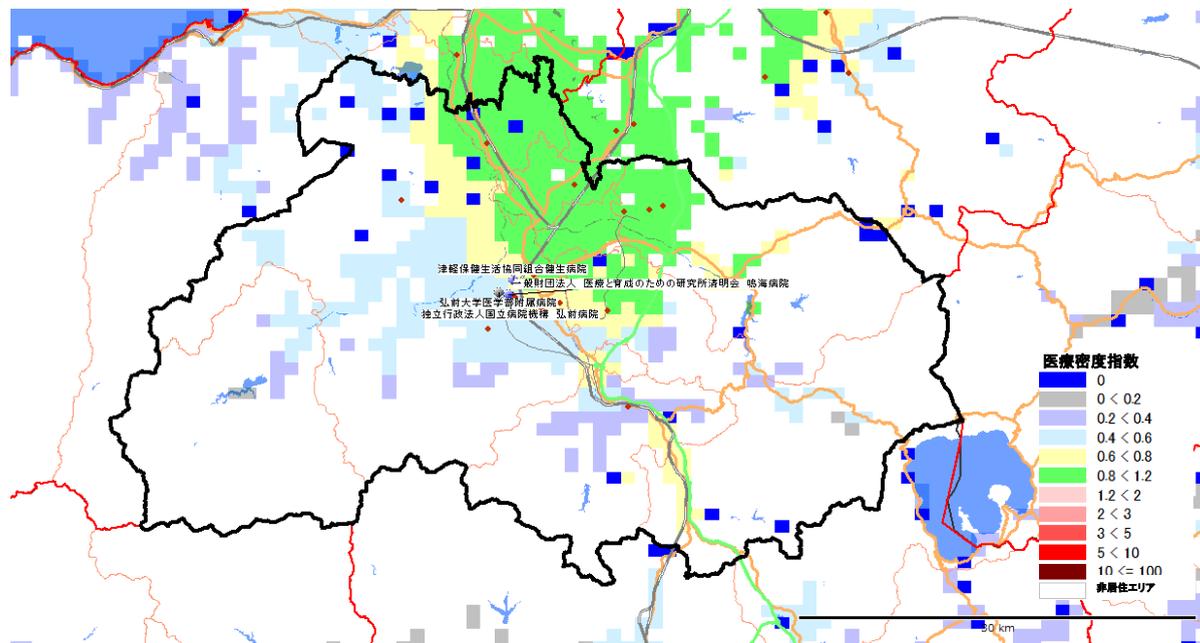


3. 医療密度⁵

図表2-1-1 急性期医療密度指数マップ



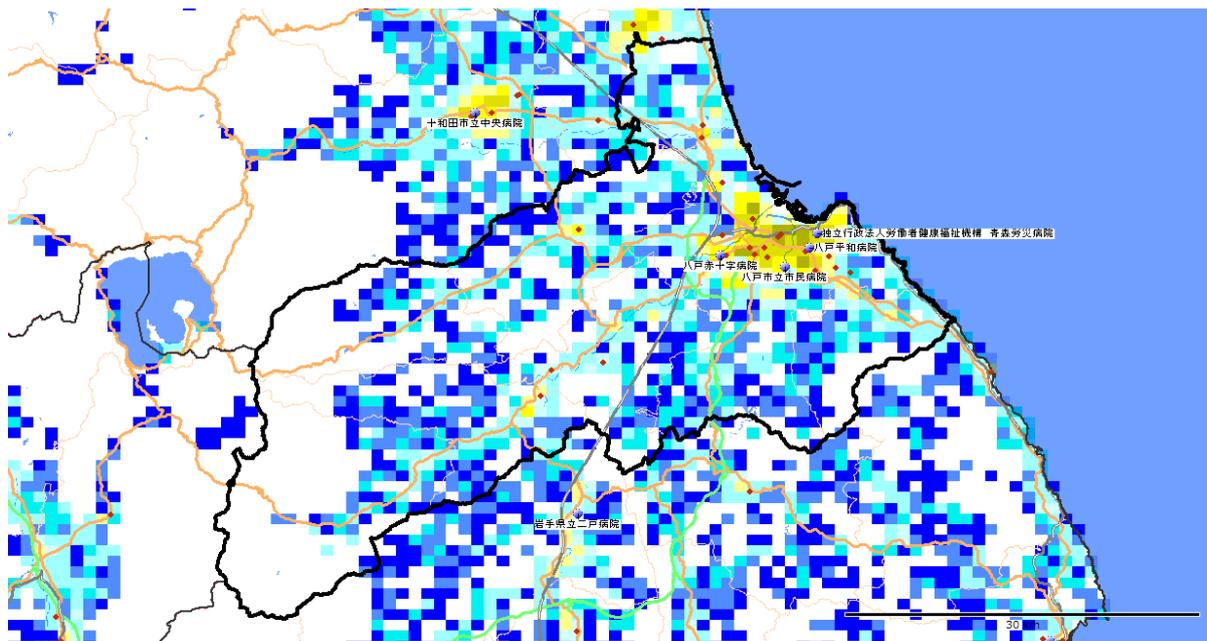
図表2-1-2 慢性期医療密度指数マップ



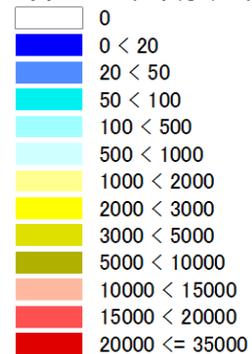
2-2. はちのへ 八戸地域医療圏

構成市区町村¹⁰ [八戸市](#) [おいらせ町](#) [三戸町](#) [五戸町](#)
[田子町](#) [南部町](#) [階上町](#) [新郷村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（八戸地域医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 八戸地域(八戸市)は、総人口約322千人(2015年推計)、面積1347km²、人口密度は239人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 八戸地域の総人口は2025年に291千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に238千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には61千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 八戸地域の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値48)、介護給付費は292千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 八戸地域の一人当たり急性期医療密度指数²は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数46、診療所医師数42)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。八戸地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の八戸市立市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の八戸赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の青森労災病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 八戸地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4233人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2703床(偏差値49)、高齢者住宅等が1530床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3688人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム63、サ高住49である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、920人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-37%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八戸地域医療圏の総人口は、2005年348205人が、2015年に321674人と8%減少し、2025年の人口が290563人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

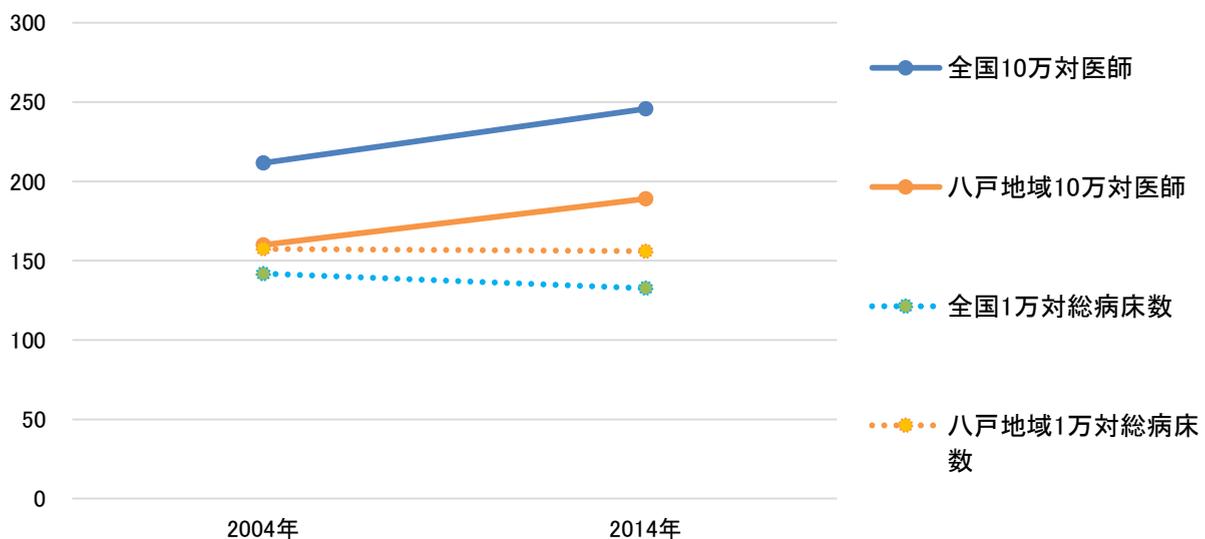
2004年の病院数が27(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に27(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が211(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に196(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値41)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が5483床(人口1万人当たり157(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に5017床(人口1万人当たり156(全国平均133)偏差値54)と、466床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が557人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に608人(人口10万人当たり189人(全国平均246人)偏差値44)と、51人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

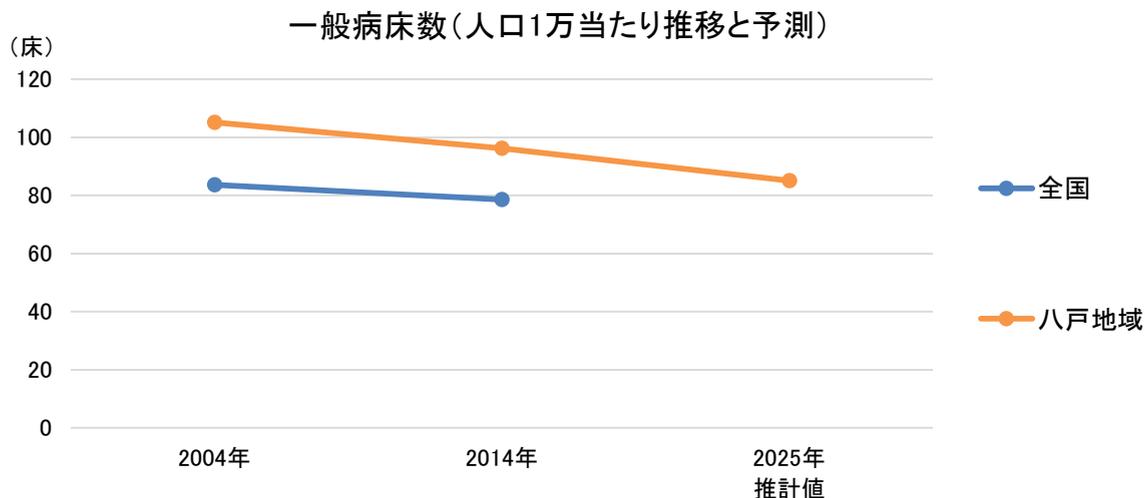
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



2. 青森県（2016年版）

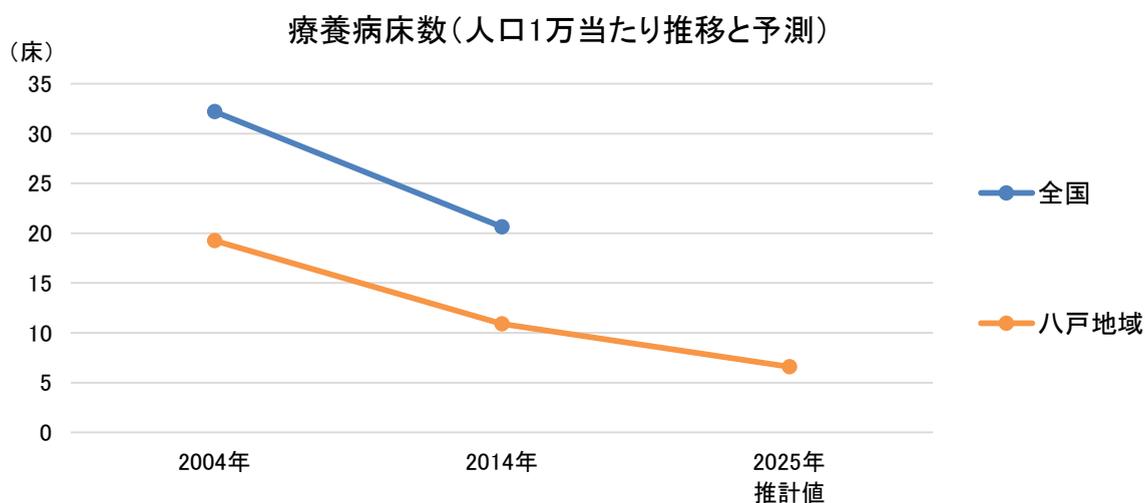
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3661床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に3095床(人口1万人当たり96(全国平均79)偏差値56)と、566床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2472床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



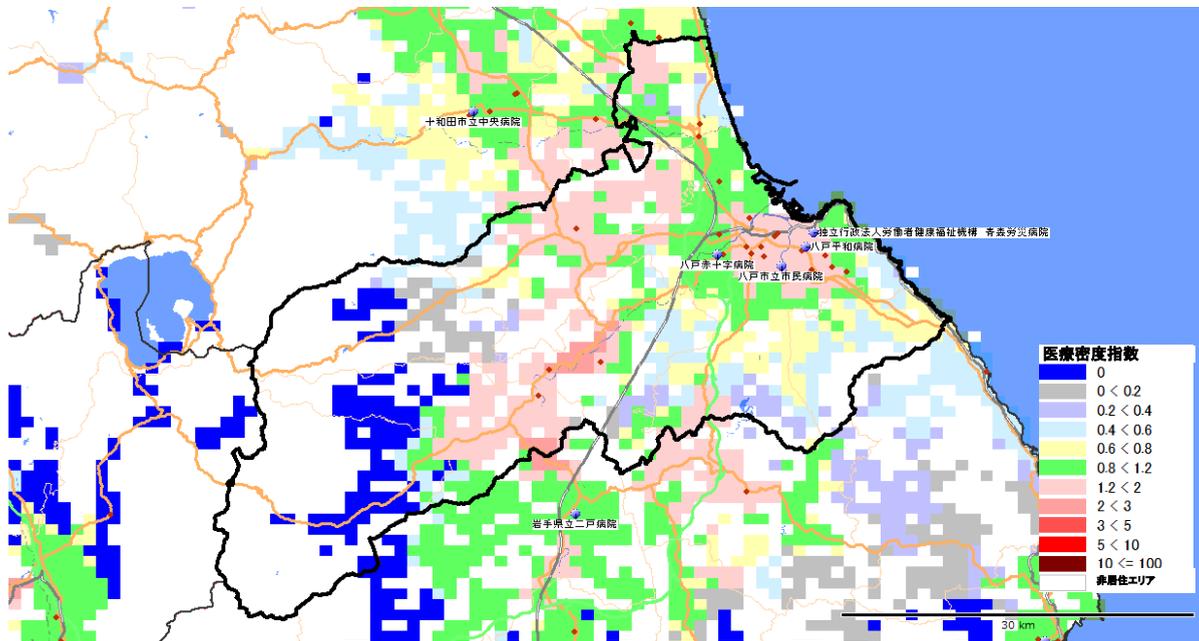
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が618床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に507床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値42)と、111床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には385床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。

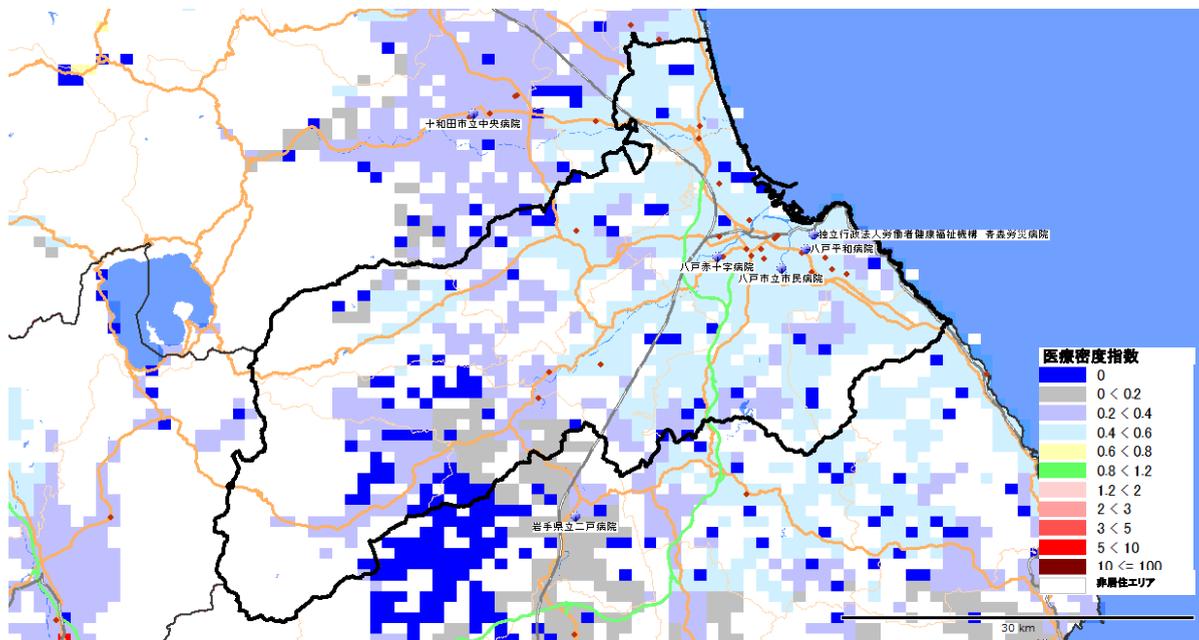


3. 医療密度⁵

図表2-2-1 急性期医療密度指数マップ



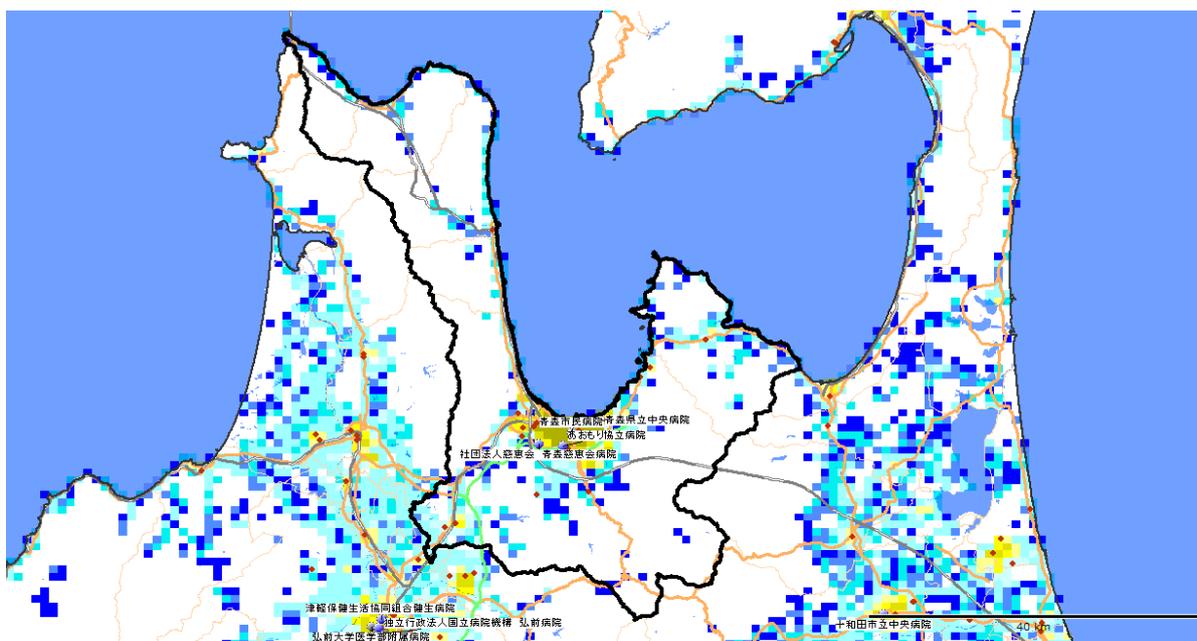
図表2-2-2 慢性期医療密度指数マップ



2-3. あおもり 青森地域医療圏

構成市区町村¹⁰ [青森市](#) [平内町](#) [今別町](#) [蓬田村](#)
[外ヶ浜町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(青森地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 青森地域(青森市)は、総人口約309千人(2015年推計)、面積1477km²、人口密度は209人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 青森地域の総人口は2025年に275千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に218千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には55千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 青森地域の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値50)、介護給付費は291千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 青森地域の一人当たり急性期医療密度指数²は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.04で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。青森地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の青森県立中央病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の青森市民病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値61と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 青森地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3857人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2245床(偏差値43)、高齢者住宅等が1612床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3473人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム50、グループホーム75、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1325人(75歳以上1000人当たりの偏差値80)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

青森地域医療圏の総人口は、2005年340427人が、2015年に309327人と9%減少し、2025年の人口が275028人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

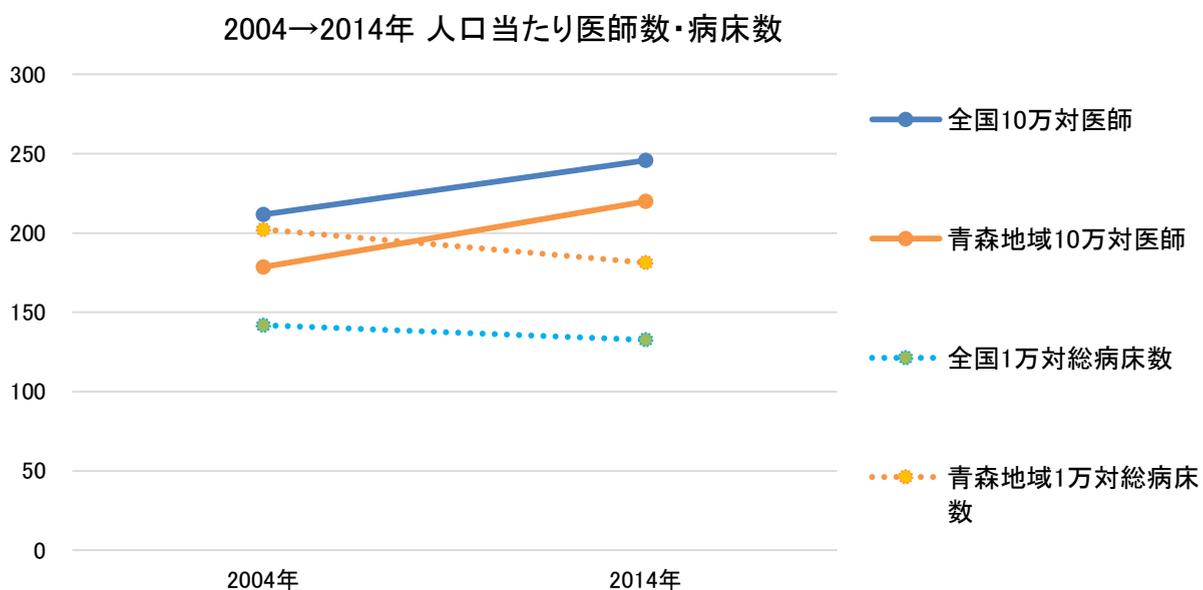
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が25(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に23(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が275(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に245(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、30診療所が減少した。

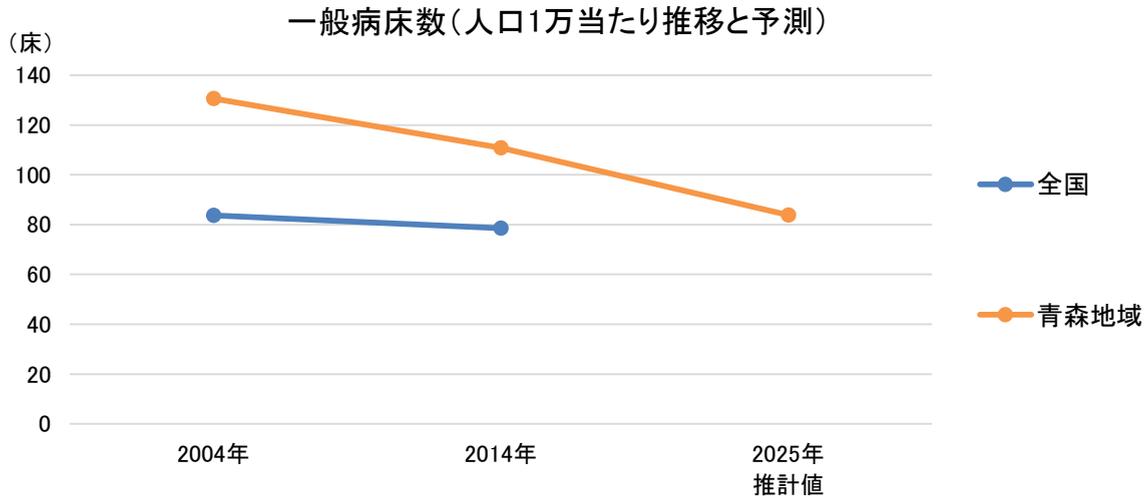
2004年の総病床数が6884床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に5608床(人口1万人当たり181(全国平均133)偏差値59)と、1276床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が608人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に680人(人口10万人当たり220人(全国平均246人)偏差値47)と、72人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



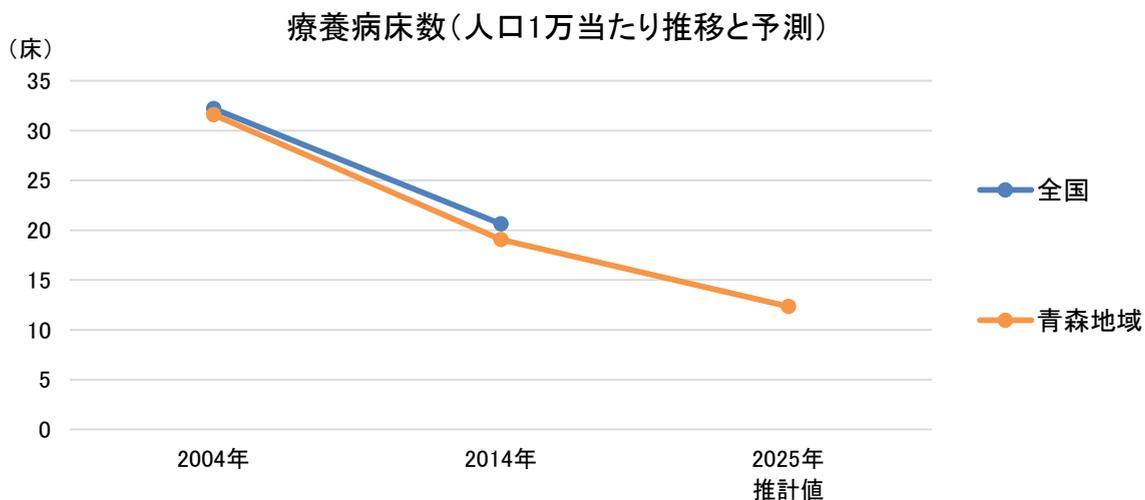
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4447床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2014年に3428床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、1019床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2307床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



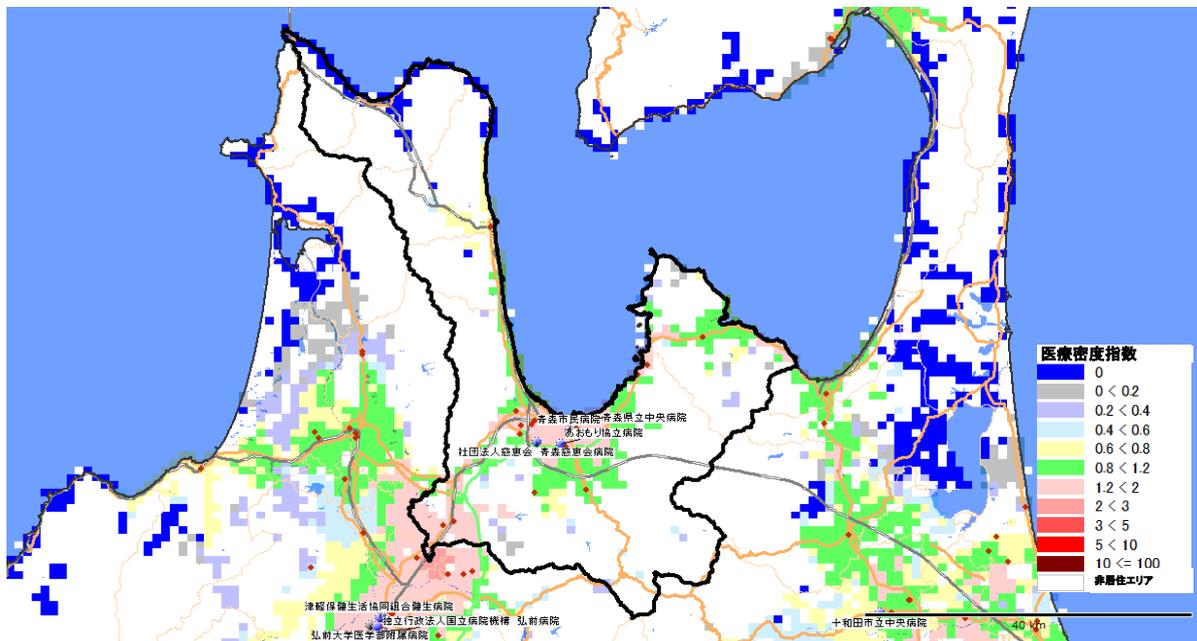
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1000床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に843床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、157床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には670床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

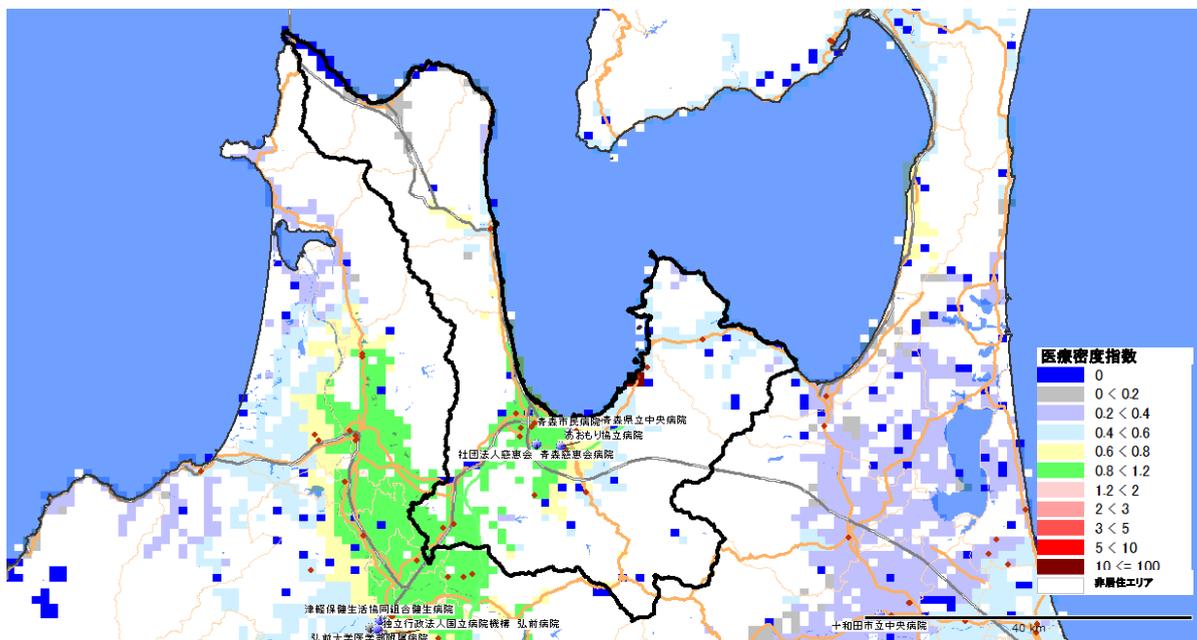


3. 医療密度⁵

図表2-3-1 急性期医療密度指数マップ



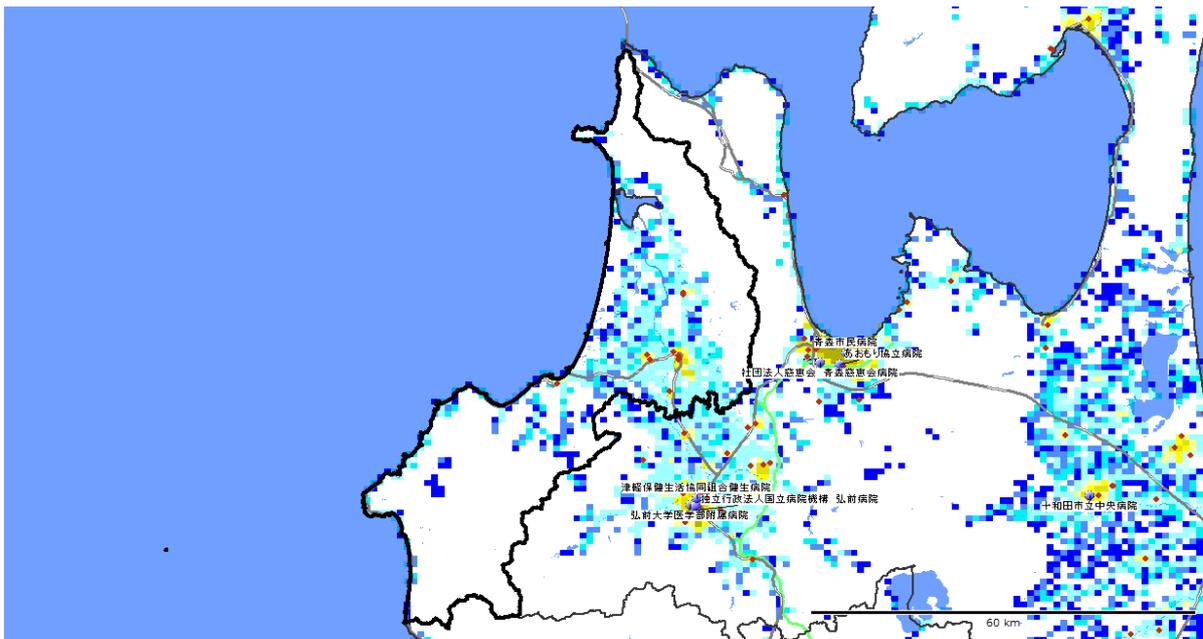
図表2-3-2 慢性期医療密度指数マップ



2-4. せいほくご 西北五地域医療圏

構成市区町村¹⁰ [五所川原市](#) [つがる市](#) [鱒ヶ沢町](#) [深浦町](#)
[鶴田町](#) [中泊町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（西北五地域医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 西北五地域(五所川原市)は、総人口約133千人(2015年推計)、面積1753km²、人口密度は76人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 西北五地域の総人口は2025年に113千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に84千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 西北五地域の一人当たり医療費(国保)は268千円(偏差値38)、介護給付費は310千円(偏差値65)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 西北五地域の一人当たり急性期医療密度指数²は0.62、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。西北五地域には、年間全身麻酔件数が500例以上のつがる総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 西北五地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2771人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1730床(偏差値57)、高齢者住宅等が1041床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2244人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設74、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム95、サ高住35である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、384人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+26%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西北五地域医療圏の総人口は、2005年155246人が、2015年に133054人と14%減少し、2025年の人口が112589人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

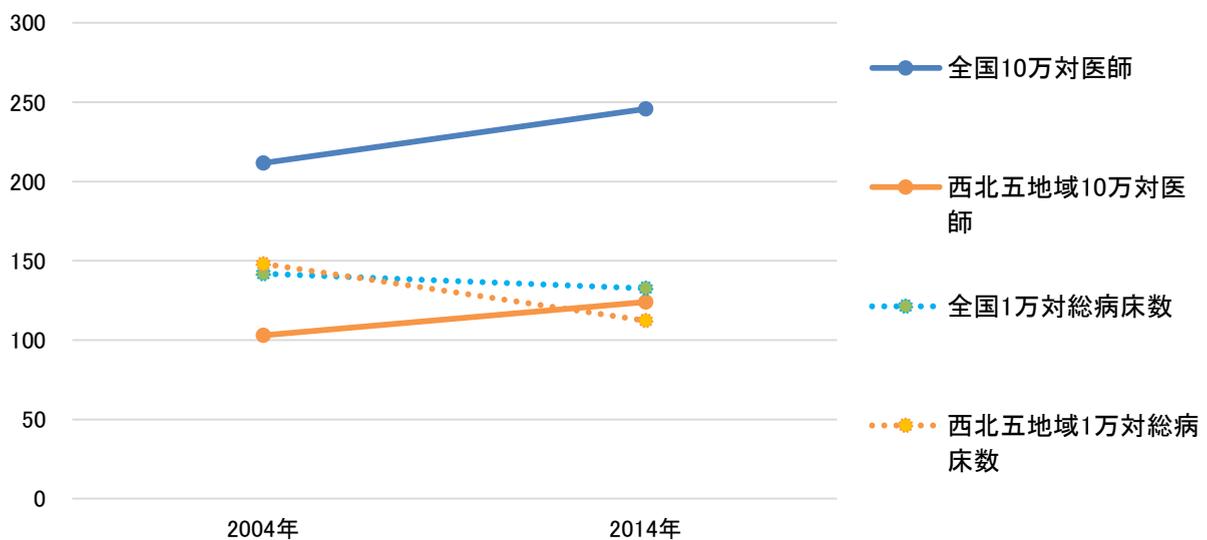
2004年の病院数が10(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に8(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が81(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に85(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が2299床(人口1万人当たり148(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に1493床(人口1万人当たり112(全国平均133)偏差値46)と、806床の減少、率にして35%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が160人(人口10万人当たり103人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり124人(全国平均246人)偏差値38)と、5人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

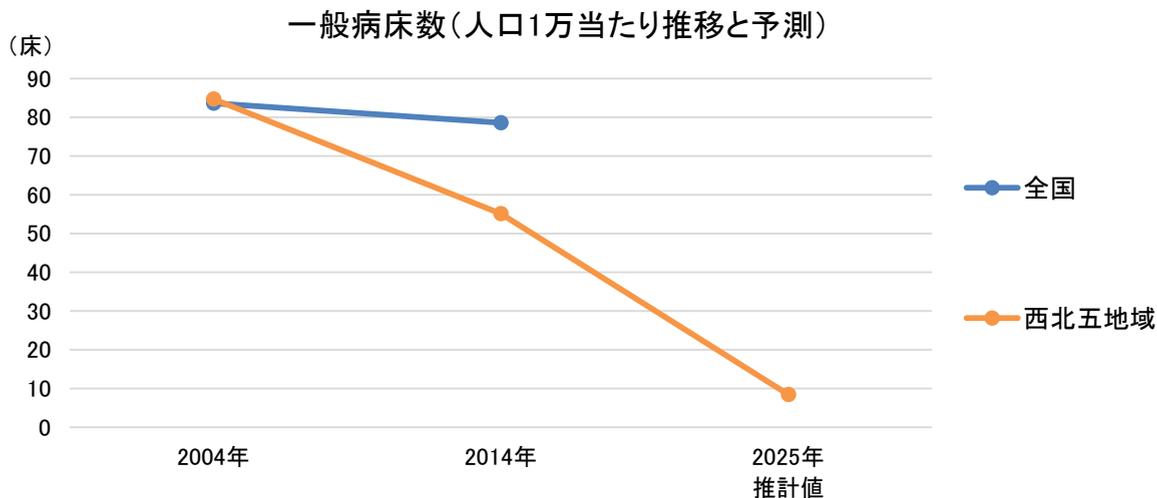
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



2. 青森県（2016年版）

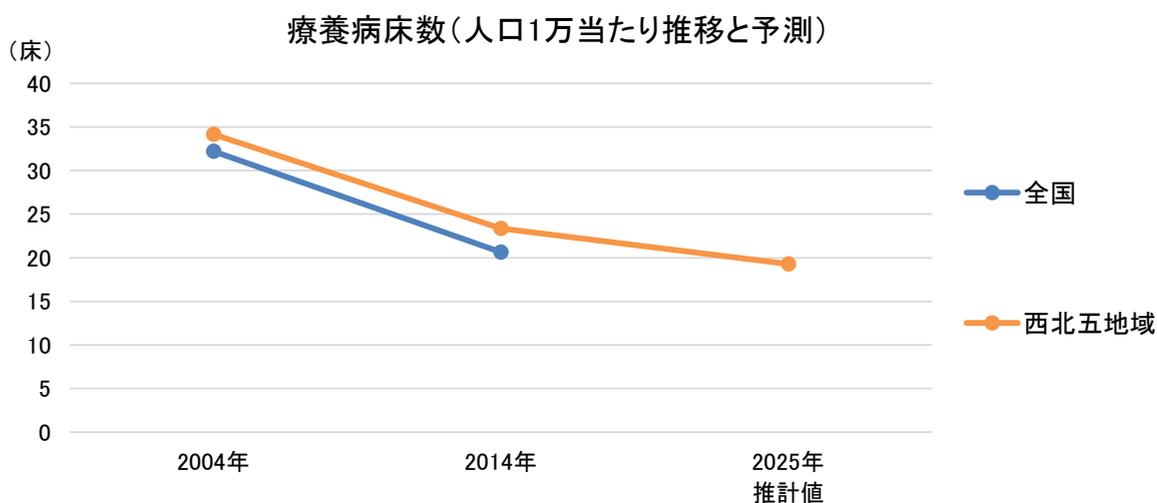
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1315床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に734床(人口1万人当たり55(全国平均79)偏差値41)と、581床の減少、率にして44%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には95床(2025年の推計人口1万人当たり8)になることが予想される。



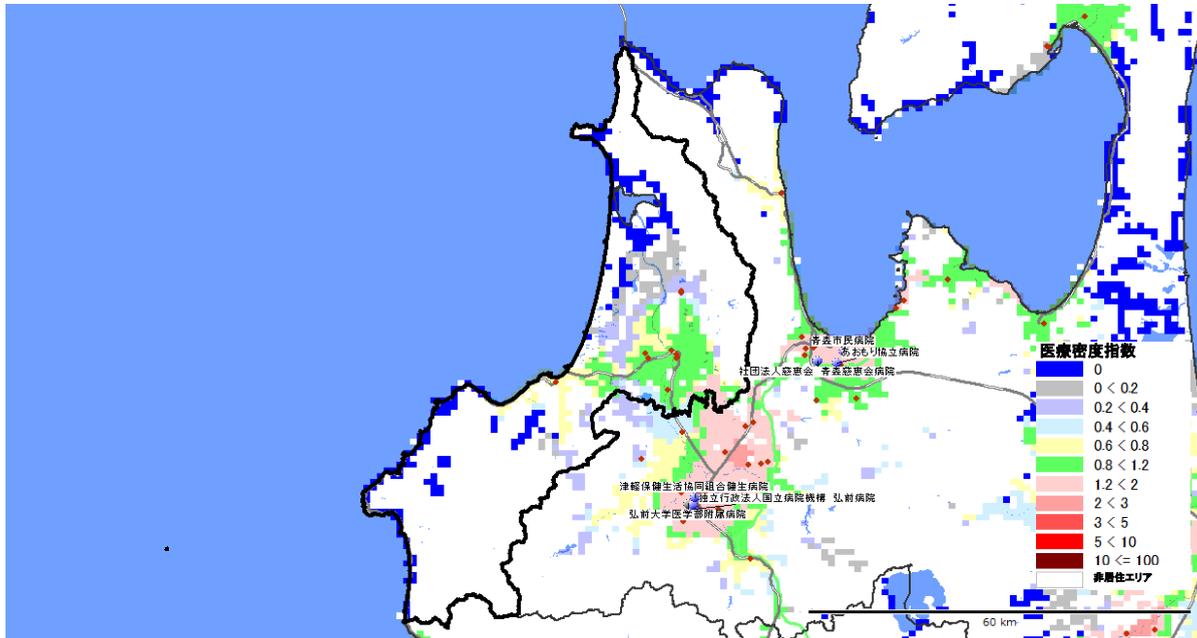
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が668床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に591床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、77床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には506床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

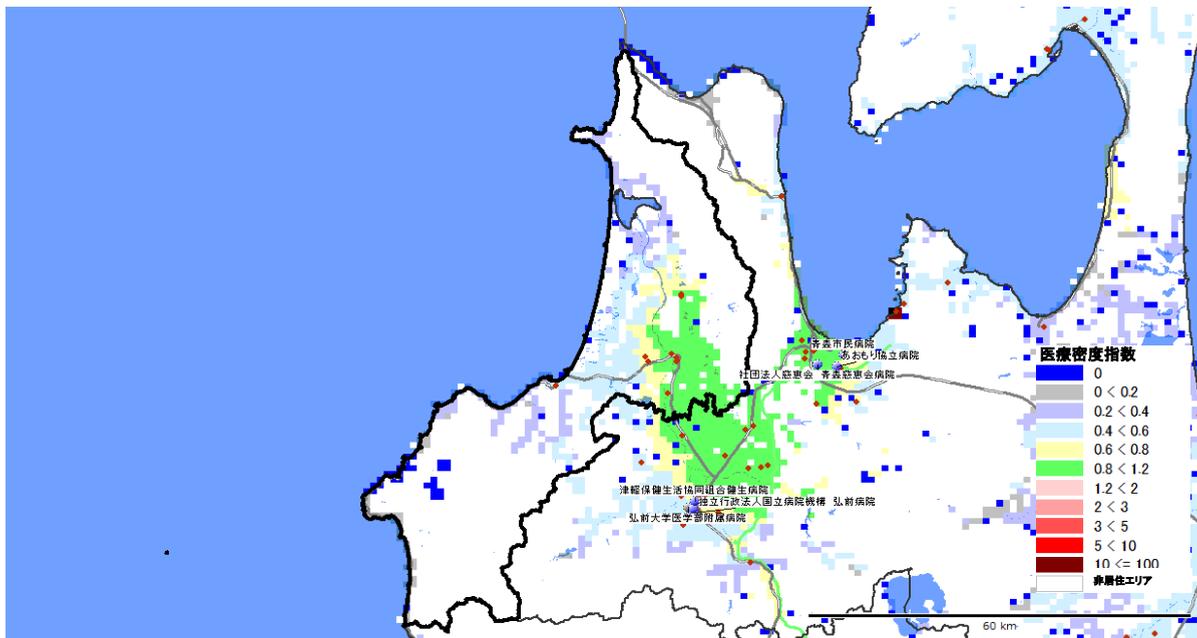


3. 医療密度⁵

図表2-4-1 急性期医療密度指数マップ



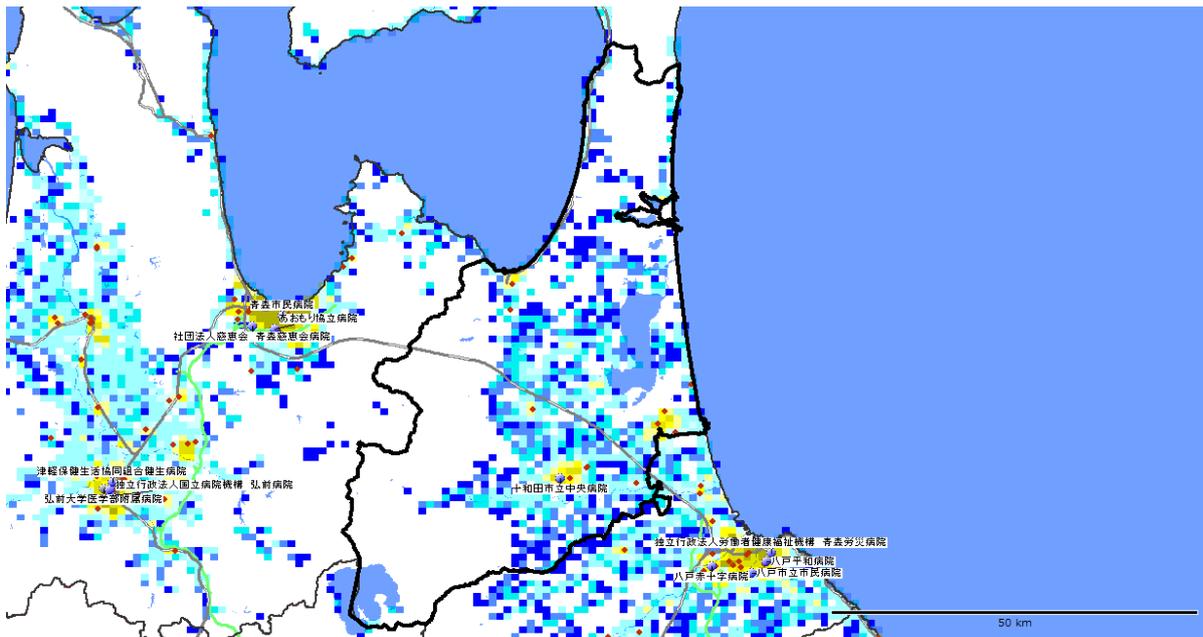
図表2-4-2 慢性期医療密度指数マップ



2-5. かみとうさん 上十三地域医療圏

構成市区町村¹⁰ [土和田市](#) [三沢市](#) [野辺地町](#) [七戸町](#)
[六戸町](#) [横浜町](#) [東北町](#) [六ヶ所村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(上十三地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上十三地域(十和田市)は、総人口約176千人(2015年推計)、面積2055km²、人口密度は86人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上十三地域の総人口は2025年に158千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に130千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上十三地域の一人当たり医療費(国保)は291千円(偏差値43)、介護給付費は326千円(偏差値70)であり、医療費は低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上十三地域の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数38、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。上十三地域には、年間全身麻酔件数が500例以上の十和田市立中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上十三地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3006人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1824床(偏差値56)、高齢者住宅等が1182床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2225人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム67、サ高住61である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、557人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上十三地域医療圏の総人口は、2005年191417人が、2015年に175786人と8%減少し、2025年の人口が158286人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

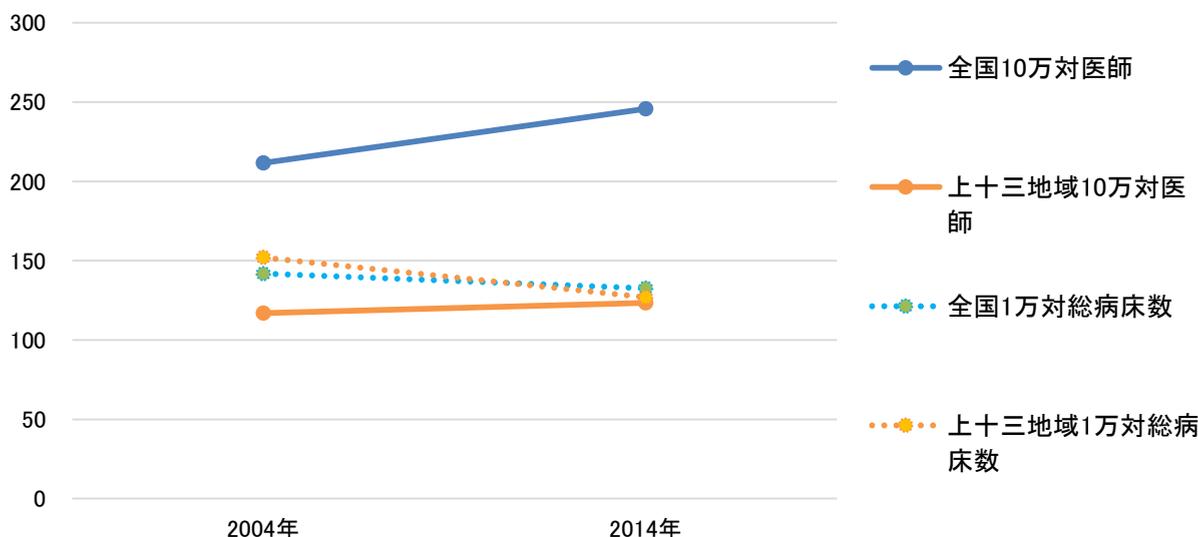
2004年の病院数が13(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に13(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が103(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に93(人口10万人当たり53診療所(全国平均79)偏差値36)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が2911床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に2230床(人口1万人当たり127(全国平均133)偏差値49)と、681床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

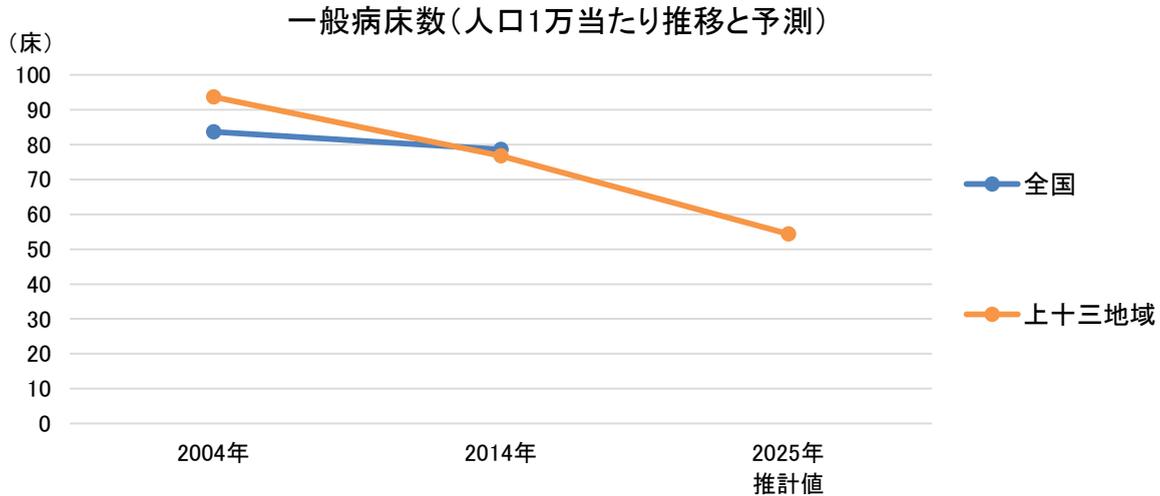
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が224人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に217人(人口10万人当たり123人(全国平均246人)偏差値38)と、7人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



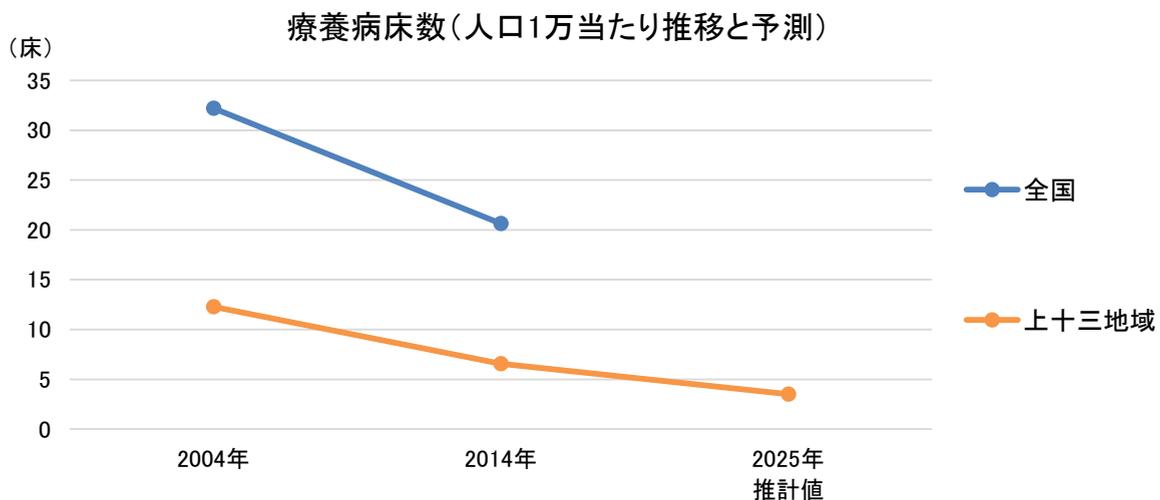
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1793床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1349床(人口1万人当たり77(全国平均79)偏差値49)と、444床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には861床(2025年の推計人口1万人当たり54)になることが予想される。



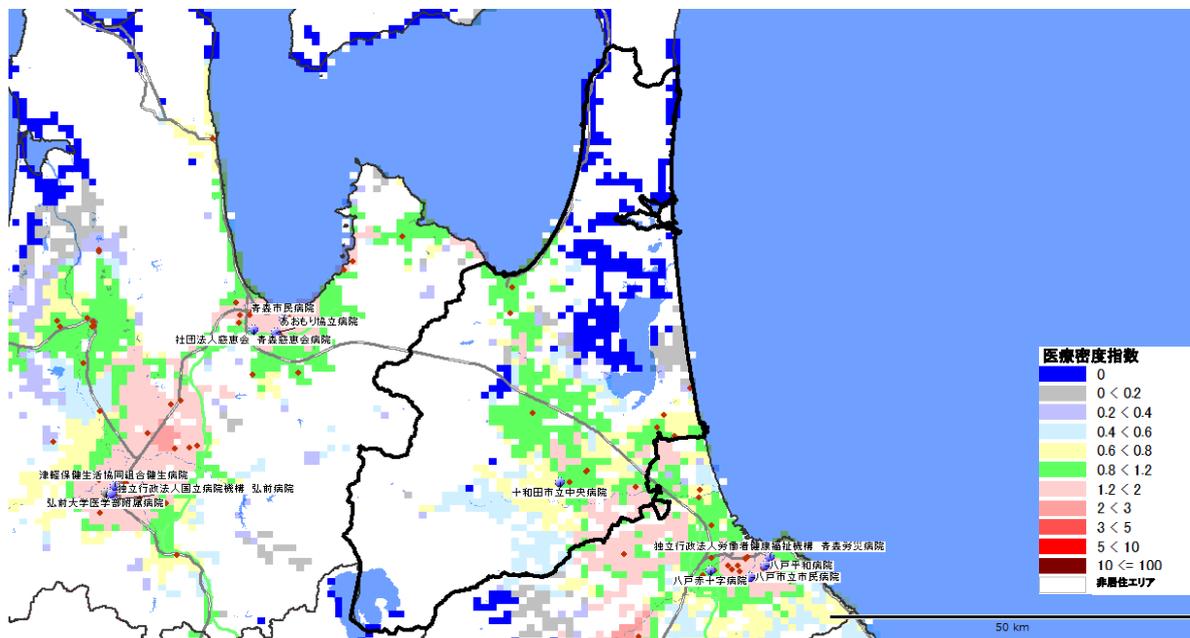
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が236床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に178床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、58床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には114床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。

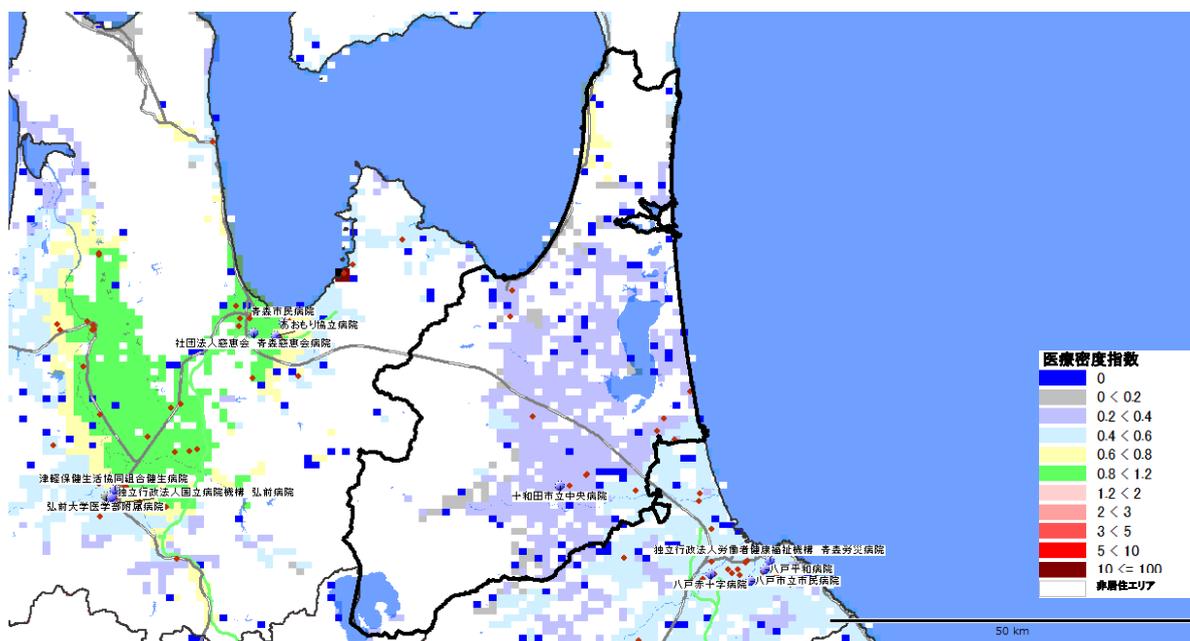


3. 医療密度⁵

図表2-5-1 急性期医療密度指数マップ



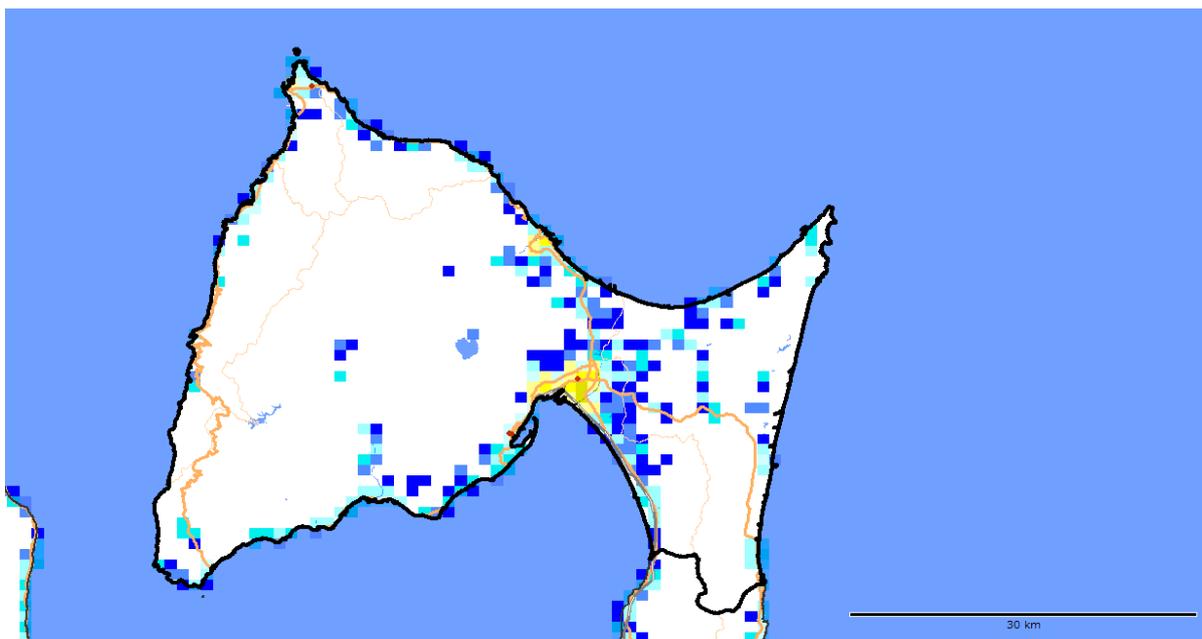
図表2-5-2 慢性期医療密度指数マップ



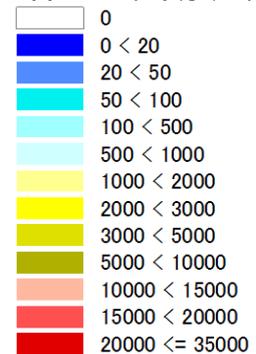
2-6. しもきた 下北地域医療圏

構成市区町村¹⁰ [むつ市](#) [大間町](#) [東通村](#) [風間浦村](#)
[佐井村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（下北地域医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

*人口、面積など： 下北地域（むつ市）は、総人口約75千人（2015年推計）、面積1415km²、人口密度は53人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 下北地域の総人口は2025年に67千人へと減少し（2015年比-11%）、2040年に53千人へと減少する（2025年比-21%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて14千人へと増加し（2015年比+17%）、2040年には14千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 下北地域の一人当たり医療費（国保）は297千円（偏差値45）、介護給付費は298千円（偏差値62）であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 下北地域の一人当たり急性期医療密度指数²は0.56、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.91で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36（病院医師数39、診療所医師数34）と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。下北地域には、年間全身麻酔件数が500例以上のむつ総合病院（Ⅲ群）がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 下北地域の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1033人（75歳以上1000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が808床（偏差値58）、高齢者住宅等が225床（偏差値37）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、871人（75歳以上1000人当たりの偏差値49）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム54、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員（在宅）の合計は、170人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

下北地域医療圏の総人口は、2005年83752人が、2015年に75221人と10%減少し、2025年の人口が66542人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

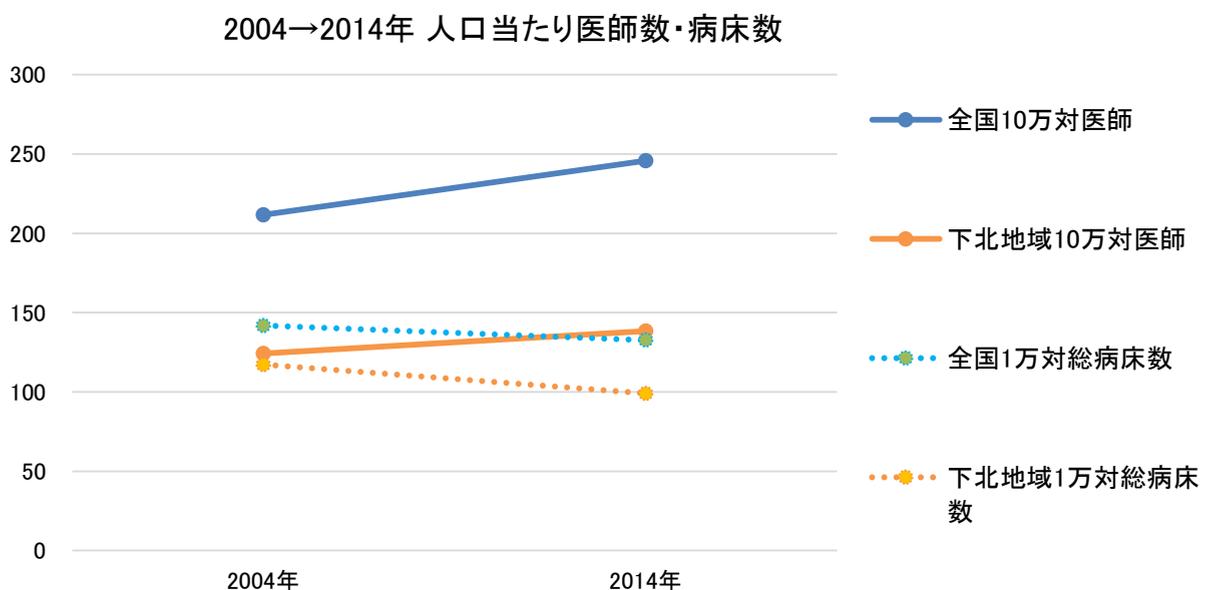
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に4(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が46(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に40(人口10万人当たり53診療所(全国平均79)偏差値37)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が982床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に745床(人口1万人当たり99(全国平均133)偏差値44)と、237床の減少、率にして24%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

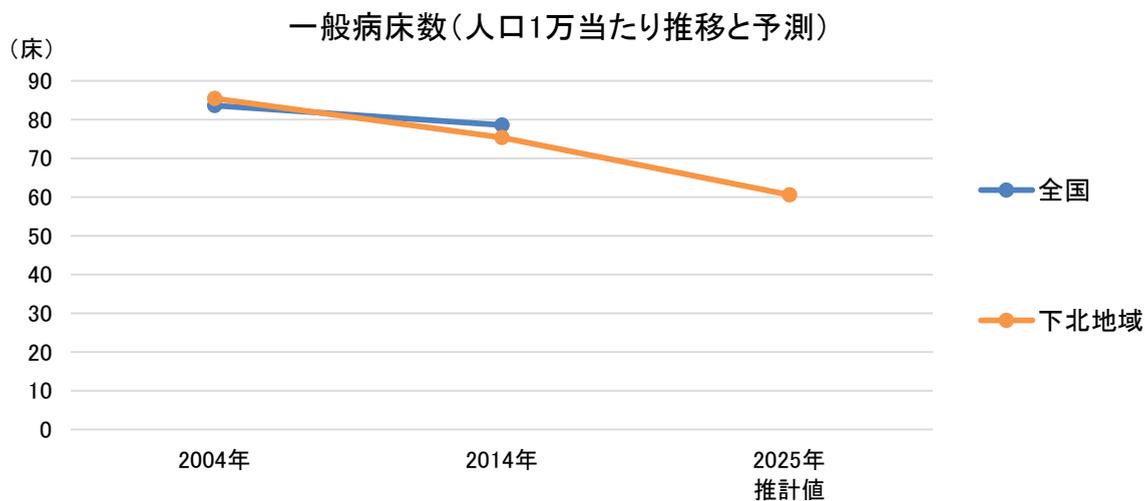
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が104人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に104人(人口10万人当たり138人(全国平均246人)偏差値39)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



2. 青森県（2016年版）

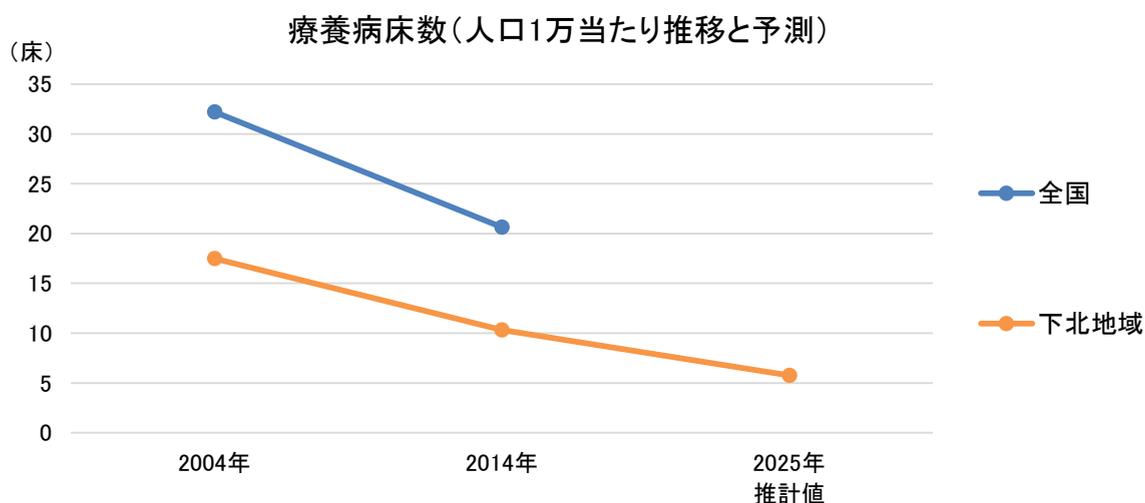
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が716床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に567床(人口1万人当たり75(全国平均79)偏差値49)と、149床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には403床(2025年の推計人口1万人当たり61)になることが予想される。



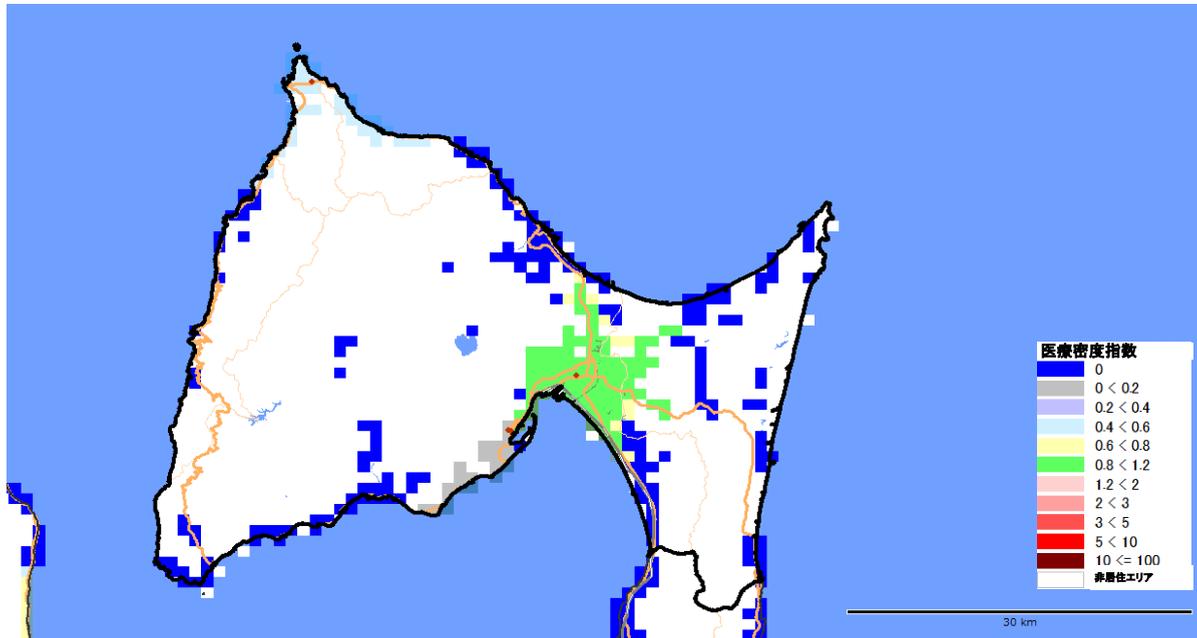
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が156床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に120床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、36床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には80床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。

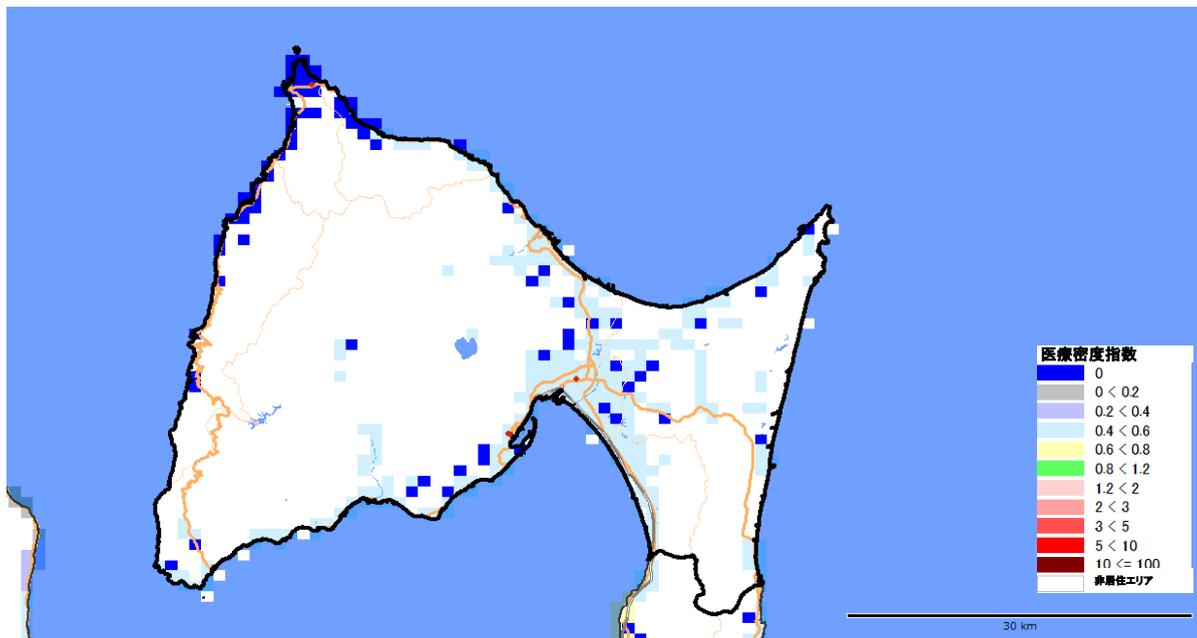


3. 医療密度⁵

図表2-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-6-2 慢性期医療密度指数マップ



2. 青森県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。